



令和5年度 JA山形おきたま

病害虫防除基準

(野菜)

“安全・安心な野菜つくり”

栽培履歴の完全記入に取り組みましょう

営農経済部

園芸課	TEL:46-5302 FAX:46-5312
資材課	TEL:46-5304 FAX:46-5311
東部配送センター	TEL:58-0050 FAX:57-2015
西部配送センター	TEL:54-0047 FAX:54-0048

各地区一次集荷所

米沢	TEL:37-2708 FAX:37-2678
高畠	TEL:58-5060 FAX:58-5070
南陽	TEL:47-4655 (広域集出荷施設内)
川西	TEL:42-2154 FAX:42-6253
長井	TEL:88-9790 FAX:88-1594
白鷹	TEL:85-5159 FAX:85-2962
飯豊	TEL:74-2138 (アスパラガス選果場)
小国	TEL:62-2092 FAX:62-2039

目次

栽培履歴の出荷前提出について	1
農薬の使用基準のポイント	2
農薬散布をするときは飛散（ドリフト）に注意しましょう！	3
GAP（農業生産工程管理）の取り組みについて	4
やまがたGAP（農業生産工程管理）チェックシート	4～5
耕種的防除に関する事	6～8
●夏秋きゅうり	9
●ハウスきゅうり	10
●ハウス大玉トマト	11
●ミニトマト	12
●ハウスメロン	13
●ねぎ	14
●アスパラガス	15
●えだまめ	16
●食用菊・たらのき	17
●かぼちゃ・なす	18
●キャベツ	19
●野菜類に使える主な登録薬剤	20
きゅうり農薬混用適否表	21～24
トマト農薬混用適否表	25～28
メロン農薬混用適否表	29～30
ねぎ農薬混用適否表	31～32
野菜栽培履歴書の記入方法	33
野菜栽培履歴書用農薬コード表	34～36

※栽培履歴（OCR用紙）、GAPチェックシート等は別途配布します。

山形おきたま農業協同組合・JA全農山形県本部
JA山形おきたま 野菜振興会

注 意

栽培履歴の出荷前提出および事前チェックについて【お願い】

近年、食の安全安心については消費者の関心が非常に高まっており、産地としては安全で安心な農作物を供給する義務があります。当JAでは栽培履歴の記帳をはじめ、講習会等で適正な農薬の使用を呼びかけています。

平成27年度からはおきたま分析センターを廃止し全農山形へ農作物の分析を依頼しています。以前より分析検体数が少ないため、補完対策として事前に適正使用を確認できる“農業ナビゲーションシステム”を併せて活用することにより、安全安心を確保しています。

万が一、残留基準や農薬使用基準に適合しない農作物が発生した場合については、栽培履歴の事前チェックが適正使用の証明となります。農薬の使用ごとの記帳と適正使用、事前提出を徹底頂きますようお願い致します。

【農薬分析において異常値が検出された場合】

1. 無登録農薬（販売（使用）禁止農薬を含む。）が検出された場合

- ①検出された生産者 ⇒ 出荷自粛
- ②それ以外の生産者（出荷集団） ⇒ 出荷一時自粛 ⇒ 栽培履歴の全戸調査
⇒ 使用がない場合は出荷

2. 適用外農薬が検出された場合

- ①検出された生産者 ⇒ 使用がある場合 ⇒ 出荷自粛
使用がない場合 ⇒ 分析で安全性を確認した場合は出荷
- ②それ以外の生産者（出荷集団） ⇒ 出荷一時自粛 ⇒ 栽培履歴の全戸調査
⇒ 使用がない場合は出荷

3. 適用農薬の超過検出があった場合

- ①検出された生産者 ⇒
 - 使用時期（日数）を満たしていない場合 ⇒ 必要日数を確保した上で出荷
分析で安全性を確認し出荷
 - 農薬使用基準が遵守されていない場合 ⇒ 出荷自粛
- ②それ以外の生産者 ⇒ 栽培履歴の全戸調査による安全性の確認後、出荷
※原因が特定できない場合は、出荷集団全戸の出荷自粛を継続し、検出された農家または出荷集団の構成員（それ以外の生産者）が再分析を行って安全性を確認後出荷

4. 残留基準や農薬使用基準に適合しない農作物が流通した場合

- ①出荷集団構成生産者全戸 ⇒ 出荷一時自粛及び自主回収、店頭へ表示
- ②栽培履歴等の全戸調査、または分析等での安全確認を行い、出荷再開を判断する
- ③産地の信頼が損なわれる、出荷先等への保証等の発生

【事例】①他県産野菜において、基準値超過の事案が発生。回収費用および見舞費用をあわせて3,000万円程度の補償金の支払義務が生じた。

②他県産野菜において、基準値超過の事案が発生。超過事例の報道後、当該JAの野菜は1円/kgでも買い手がつかず、他品目の取引価格は半値以下となった。

産地を守るため、履歴の記帳・出荷前提出を徹底しましょう！

◆農薬の使用基準のポイント

農薬を使用して病害虫防除や植物の成長調整等を行なう場合は、容器に記載されている注意事項をよく読み、農作物ごとに定められた使用量、希釀倍数、使用時期、使用回数および同一成分の総使用回数等を厳守し、安全で安心な農作物の生産を心がけましょう。

◇使用方法の遵守

容器のラベルに表示されている内容を守って使用します。

- ① その農薬に適用がない作物へは使用しないこと。
- ② 定められた使用量又は濃度を超えて使用しないこと。
- ③ 定められた使用時期を守ること。
- ④ 定められた総使用回数以内で使用すること。

★新しい農薬はもちろん、使い慣れた農薬でも、変更がある場合があるので、使用前に必ずラベルや最新の登録内容を確認しましょう。



◇防除記録の記帳

各作物ごとの栽培履歴に農薬を使用した内容を正確に記帳します。記帳した内容は、農薬を安全・適正に使用したことの証明となります。

◇農薬と農作物に関連する法律

農薬には、殺虫剤、殺菌剤、除草剤、植物成長調節剤、殺そ剤、忌避剤、展着剤、天敵昆虫があります。

【農薬取締法】(農水省)

農薬の製造、輸入、販売、使用などについて規制します。

【食品衛生法】(厚生労働省)

飲食に起因する衛生上の危害の発生を防止します。

このほかに、毒物劇物取締法、植物防疫法、環境基本法、水質汚濁防止法、消防法、水道法などがあり、全てを遵守する必要があります。



注意！

※必ず適用作物・対象病害虫・使用方法・使用時期・希釀倍数・使用量・使用回数を確認して農薬を使用して下さい。

農薬散布をするときには飛散(ドリフト)に注意しましょう！

残留農薬のポジティブリスト制度

- ▼食品衛生法・残留農薬のポジティブリスト制度が平成18年から始まりました。
- ▼この制度では、今まで残留農薬基準値がない農薬にも、0.01ppmという低い数値が基準値として設定されました。
- ▼この基準値をオーバーした生産物は、販売が禁止されるため、出荷停止・回収などの事態が想定されます。

つまり、これまで以上に気をつけなくてはいけないのは………農薬の飛散

どんなときに注意が必要？

使用しようとする農薬が周りの食用作物に登録（適用）のない場合 特に次の場合に注意が必要です！

1. 圃場同士の距離が近い時 2. 隣の食用作物の収穫が近づいてきた時 3. 飛散が起こりやすい散布方法の時

※風が強いほど飛散距離は大きくなります。 ※散布圃場に近い場所ほど飛散量は多くなります。

※飛散が多くなる傾向があるのは ・細かすぎる散布粒子のノズルを使う場合 ・散布圧力を上げすぎる場合

◆散布することを周りの栽培者に伝え、日頃からコミュニケーションをとるなど、地域の農業者同士の連絡を密にしておくことが重要です。

対策は？ 散布時に守りたいこと！

- ◎散布量が多くなりすぎないよう気をつけましょう。 →散布は必要最小限の量と区域で行うようにしましょう。
- ◎風の弱い時に風向に気をつけて散布しましょう。 →風下に別の作物がある時はとくに注意が必要です。
- ◎散布の方向や位置に気をつけて散布しましょう。 →できるだけ作物の近くから、作物だけにかかるよう散布しましょう。 →圃場の端部での散布は外側から内側に向けて行うようにしましょう。
- ◎細かすぎる散布粒子のノズルは使わないようにし、散布圧力を上げすぎないようにしましょう。
→粒子が細かいほど、圧力を高めるほど飛散しやすくなります。
- ◎タンクやホースは毎日、洗いもれがないようきれいに洗っておきましょう。

こんな対策も有効！

- ◎周りの作物にも登録のある農薬を使用する。
- ◎飛散しにくい剤型（粒剤等）の農薬を使用する。
- ◎まわりの作物をネットやシートなどで遮へいしたり一時的に覆う。
- ◆飛散をできるだけ減らすよう工夫して散布しましょう。また、農薬を散布したら必ず記帳するようにしましょう。

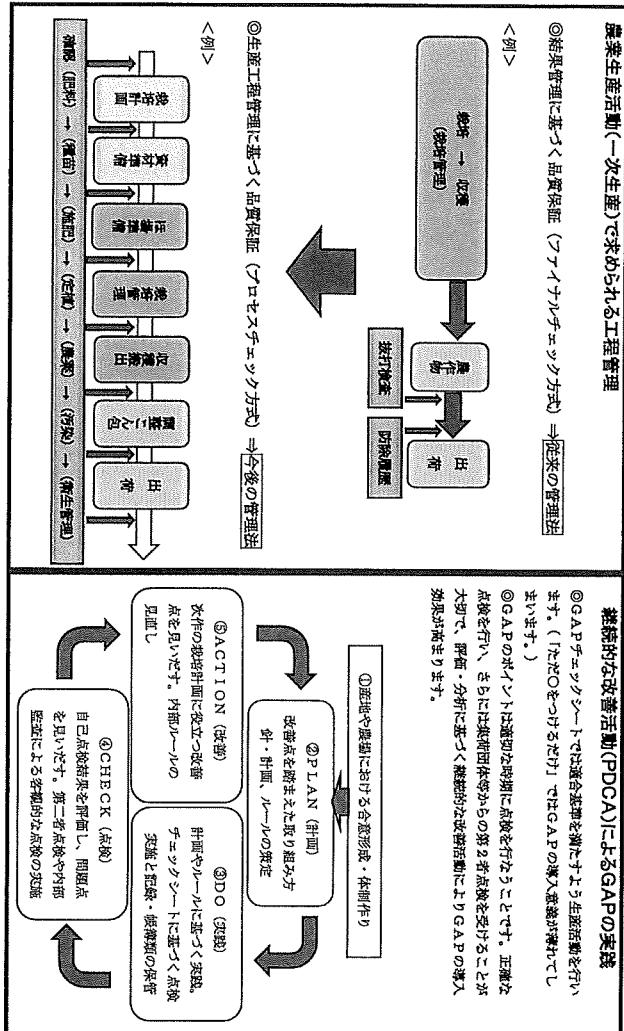
安全安心な農作物供給へ！ [GAP(農業生産工程管理)の取り組みについて]

[GAP]とは？

G.A.P(農業生産工程管理)は「良い農業のやり方」農業を行う上で違反や事故が発生しないようにするため、「点検項目」を決め、常にチェックしながら農業に取組み、次に向けて「改善」を続けていくこと。
→年々、違反や事故が発生する可能性を小さくしていく取組み。

[GAP 5本の柱]

1. 食品安全
 2. 環境保全
 3. 労働安全
 4. 人権・福祉
 5. 農場経営管理
- 作業者の人権を保護し、労働環境を整備
品質・商品管理をしっかりと行う農場経営



Good Agricultural Practice (良い 農業 の やり方)

Good=良い(プラス)の意味で使う(イニシアチブ、改善等)
Basis部分を英語で見て、Goodの部分を増やしていく！

- JAPおおきのGAPの取り組み**
- GAPをめぐる情報**
- SDGs(持続可能な開発目標)への世界的な関心も高まり、環境保全や人権保護等への配慮が重要な行動規範として浸透されており、スマート農業などの情報通信技術の導入が進み、ロボット、AI、IoTなどの先端技術が全国的に広く進化しております。今年度も栽培履歴および農業生産工程管理チェックシート(当面の間、山形県版農業生産工程管理(GAP)生産者用チェックシートを活用)の提出が必要となります。※面積等の変更がある場合は安全安心協定書の再提出が必要。
- 平成30年度より、『山形県版農業生産工程管理(GAP)』の取り組みを実施し、GAPへの取り組みを認定されました。最後に「やまがたG.A.P.」や「J.G.A.P.」、国際水準の「GLOBAIG.A.P.」「ASIGAP」の第三者認証を得て目指します。東京2020大会までにG.A.Pの取組が広がり、大会後～2030年には国際水準に達する取組が浸透することを目指してGAPを推進しています。

標準様式第4号

山形県版農業生産工程管理(GAP) 生産者用チェックシート

【青果物(果樹・野菜)】

氏名	品目名(複数品目の場合は全品目を記入ください)	点検欄
----	-------------------------	-----

- 本シートは農業生産活動の各工程において、①食品安全 ②環境保全 ③労働安全
④人権保護 ⑥管理全般(農場経営管理を含む)に関する「管理点」を定めたものです。
- 「管理点」に対して、法令遵守を基本として、『正しいやり方・満たすべき条件』を「適合基準」として定めました。
- 適合基準は重要性に応じてレベル分けしています。
- 【必須】：法令上の義務など必ず実施すべき項目**
- 【重要】：実施すべき項目**
- 「記録簿」に「整備」と記載している「適合基準」は記録簿を整備・保管しておく必要があります。
- 「適合基準」を全て満たすことを目標にして生産活動を行いましょう。

●チェックシートの記入方法●

- 『評価』欄には ○、×、△、ー、を記入します
- :適合基準を満たすように実施できている。 ×:取り組みができていない。
 △:取り組んでいるが一部できていない。 ー:自分には該当しない項目である。

1 管理全般

管理点	レベル	適合基準	記入		評価
			記入	評価	
1 農業生産工程管理(GAP)に取り組んでいる	必須	継続的な改善活動(栽培計画を策定し、点検項目を認めて農作業を行い、取組みを記録・保管し、自己点検及び団体による点検を受けて次回に向けた改善点を見出す)によるGAPを実践している。	-		
	重要	集荷団体や部会等が認定する農産物の安全性確保や、GAPに関する研修会に参加している。	-		
2 登録種苗や技術・ノウハウ(知的財産)を保護、活用している	重要	農業者自らが開発した技術・ノウハウ(知的財産)を保護・活用している。	-		
	必須	権利が保護されている種苗(種子、苗、果樹の挿)育成者の許可なく増殖したり、生産者等に種苗として販売を行かない(法令上の義務)	-		
3 農業生産活動に対する取扱いを適切に実施している	必須	種子、苗、器具、肥料、堆肥の購入伝票を取引先等に対応できるように一定期間保管している。	整備		
	必須	農産物の出荷伝票をつけるとともに、3年間は出荷伝票を保管している。	整備		
4 農地情報・生産資材の使用履歴を記録している	重要	追跡情報(マップ、追尾費用)を記録・保管している。	整備		
	必須	栽培履歴、農薬・肥料・堆肥の使用履歴を記録している。また、資材の消去や施設・機器の保守管理の記録についても保存している。	整備		
5 農場規則を整備している	必須	農業・肥料の在庫台帳など帳簿類を整備し、取引先等に対応できるように一定期間保管している。	整備		

管理点	レベル	適合基準	記入	評価
6 GAPの取組みについて外部委託先と合意している	必須	集荷、運送等を外部の事業者に委託している場合、契約文書等によりGAPの取組みに従うことの合意を得ている。	整備	
	重要	外部委託先に対し、GAPの取組みに適合しているかどうか年1回以上点検し、その記録を残している。	整備	

2 食品安全

管理点	レベル	適合基準	記入	評価
7 農産物或成工程の確実化とリスク評価を行っている	必須	農産物・品目ごとに作業工程、各工程で使用する資源(水、資材、樹木・設備・車両等)を明らかにした農産物取扱い工程を文書化している。	整備	
	必須	農産物の集荷や粗暴剥削、こん包等の農産物取扱い工程について、食品安全に係る危害要因を特定し、そのリスク評価を年1回以上行っている。	整備	
8 地域の土の安全性を確認している	重要	ほ場の土の安全性を確認している。	-	
	重要	栽培から出荷まで、安全性が確保された水を使用している。	-	
9 肥料等の安全性を確認している	必須	栽培に使用する水の水源(水道、井戸水、水密等)を確認している。	-	
	必須	収穫が近い時期の川ん水に使用する水及び農産物を最後に洗浄する水には、水道水など安全な水を使用している。	-	
10 肥料等の安全性を確認している	必須	放射性物質の確認が必要な肥料等について、含まれる放射性物質が国の基準を超えていないことを確認している。また、行政による公定規格に合格した肥料以外の肥料等について、原材料、製造工程または検査結果を把握し、農産物に危険を及ぼす要因がないことを確認している。	-	
	必須	肥料等の販売を行っている場合、肥料等の保管場所と農産物を取り扱う場所との間に区分されている。	-	
11 肥料の保管管理を適切に行っている	重要	肥料等に規格に合致し、成分が確認された肥料を適切に使用している。	-	
	重要	公定規格に合致し、成分が確認された肥料を適切に使用している。	-	
12 肥料を適切に使用している	重要	堆肥を使用する場合、病原性微生物の潜伏防止や外来種草種子殺滅のため、高温で発酵した熟成肥料を使用している。	-	
	重要	未熟な有機物や畜糞など病原微生物による汚染の危険があるものを使用しない。	-	
13 培養物や有機物を適切に使用している	必須	農業の保管場所や貯蔵場所と農産物を取り扱う場所とが明確に区分されている。	-	
	必須	農業は専用の場所で保管している。また、開封した農業の保管は、こぼれたり、他の農業容器に付着しないように管理している。【法令上の義務】	-	
14 農業の保管管理を適切に行っている	重要	農業の保管場所や貯蔵場所と農産物を取り扱う場所とが明確に区分されている。	-	
	重要	無登録農業は使用せず、農水省登録のある農業を使用している。【法令上の義務】	-	
15 農業計画に基づき、適正に農業を使用するとともに、農業ラベルの記載事項を事前に確認してから散布している。特に、使用基準(適用作物、使用回数、使用時期、希釈倍数または使用量)は遵守している。【法令上の義務】	必須	防除の作業者と農業の責任者が異なる場合は、責任者の指示により防除を行う。	-	
	必須	農業の責任者は出荷前に防治実績を確認し、誤った使用がないか点検する。	-	

管理点		レベル	適合基準	EIA	評価
16	残留農薬のおそれがない農産物を生産・出荷している	重要	前作で土壌に散布した農薬を把握しており、当該作付け作物に対する残留リスクがないことを確認している。	-	
		重要	防除器具（ホース含む）が洗浄され、前回散布の農薬が残っていない。	-	
		必須	収穫する作物について、園外からのドリフトに注意している。	-	
		重要	所属する圃場団体は出荷前の残留農薬の分析を実施している。	-	
17	ほ場やハウス等を衛生的に管理している	必須	ほ場やハウス等は、定期的に清掃し、麻糸袋や不要物が散乱しないよう正在している。	-	
		重要	ハウス等の施設では、汚水流入や動物の侵入など外部からの汚染がないような構造になっている。	-	
18	農作業・収穫・運搬・輸送の工程は衛生的に管理している	必須	農作業に使用する機械、農機具、収穫用のハサミは、常に衛生的に保たれている。また、収穫コンテナは清潔なものを使用して汚染がないようにしている。	-	
		重要	収穫作業従事者は、清潔な服装や帽子着用など衛生的で異物混入防止に注意を払っている。	-	
		重要	ほ場や施設から通える場所に手洗い設備、トイレがある。手洗い設備には洗浄剤、消毒液などを備えており、また、トイレは衛生的に管理されている。	-	
		重要	収穫物をトラック等で運搬する場合には、荷台は農薬や糞等の付着による汚染がないよう、使用後は必ず洗浄し衛生的に保つようにしている。	-	
19	施設の衛生管理に必要な措置を講じている	必須	ゴミ箱が設置されており、残渣等の廃棄物はその日のうちに施設外に持ち出している。また、作業後の清掃を必ず行っている。	-	
		重要	施設内の農薬、肥料、機械油等による農産物への汚染がないよう、区分管理を行なうなど、必要な措置を講じている。	-	
		重要	出荷調整施設や貯蔵施設では、汚水流入や動物等による汚染防止が図られている。	-	
		必須	農産物を入れる保管庫の資材や包装資材は、清潔に保管管理されたものを使用している。	-	
		必須	農産物の保管・精選庫は適切な温度で管理している。	-	
20	作業者からの汚染防止の措置を講じている	必須	全ての作業従事者は、以下の際に清潔で衛生的な場所で手洗いを確実に行っている。 1 原料及び製品取扱い前 2 食事後、トイレ使用後、便座後	-	
		重要	清潔な衣服で作業を実施する。また、作業者がケガや病気をしている場合は、作業を従事させない。	-	
		重要	喫煙・飲食する場所は農産物に影響が無いよう対策を講じている。	-	
		重要	全ての作業従事者は、以下の際に清潔で衛生的な場所で手洗いを確実に行っている。 1 原料及び製品取扱い前 2 食事後、トイレ使用後、便座後	-	

24-3

管理点		レベル	適合基準	EIA	評価
22	農薬による汚染を防いでいる	必須	農薬の使用頻度がないように必要な量だけを秤量・調製するとともに、使用後にタンクを洗浄する場合、ほ場内で適切に処分し、水路や河川に流入しないよう措置を講じている。	-	<
		必須	県や JA 等で作成する防除暦や発生予察情報等を活用し、適切な防除計画を立てている。	-	
23	化学農薬に過度に依存しない防除法を実践している	必須	県や JA 等で作成する防除暦や発生予察情報等を活用し、適切な防除計画を立てている。	-	
		重要	病害虫や雑草が発生しにくい栽培環境づくりに努めている。また、化学合成分農薬の代替として、物理的防除、生物的防除等の技術を組み合わせた IPM の導入に努めている。	-	
24	農薬のドリフト防止対策を行っている	必須	近隣の住宅地、通学路、学校等に農薬散布の悪影響がないよう配慮した防除を行っている。 【法令上の義務】	-	
		重要	ドリフト防止の基本対策（山形県病害虫防除基準や JA 等の指導資料による）を講じている。また、土壤くん蒸剤等を使用する場合は播種袋を封する対策を行っている。	-	
25	周辺環境に配慮した農業生産活動を実践している	重要	庭場から出るごみ等が少なくなるようにしている。また、ほ場や施設は清潔に保っている。	-	
		重要	作物残さについては、堆肥化などリサイクルに努め、廃棄物の削減に図っている。	-	
		必須	庭場から生じる油滴、廃プラスチックの保管場所は決めている。また、廃プラスチックは、JA等を通じて適正に廃棄している。 【法令上の義務】	-	
		必須	不適切な屋外燃焼行為により、周辺へ悪影響を及ぼさないようにしている。 【法令上の義務】	-	
		重要	ほ場及び農産物取扱施設で発生した排水やそれに含まれる植物油、さ、掃除ごみ等を管理している。	-	
		重要	周辺住民等に対して騒音、振動、悪臭、煙・埃・有害物質の飛散・流出等に配慮している。	-	
26	環境に配慮した農業を実践している	重要	堆肥等の有機物による土づくりを行っている。また、堆肥は、適切に堆肥化されたものを使用している。	-	
		重要	降雨や強風によって土壌が流失する恐れがある場合は、対策を実施している。	-	

24-4

3 環境保全

管理点		レベル	適合基準	EIA	評価
21	肥料や堆肥による汚染を防いでいる	必須	保管場所や散布場所から肥料や堆肥等が流出しないよう適切に管理している。	-	
		必須	効率的に肥料・堆肥等を活用するための施肥設計を行っている（または、JA等の指導を受けている）。	監査	

24-3

管理点		レベル	適合基準	EIA	評価
29	事故防止のための作業環境整備及び機械作業時の安全対策を講じている	必須	機械類の定期点検・整備を実施するとともに、使用前の試運転や使用後の清掃・整備等を実施している。また、樹木類は取扱説明書に従って適正使用し、適切に保管している。 【法令上の義務】	監査	
		必須	燃料は、危険物表示があり、火気がなく、通常部外者が立ち入りず、漏れた場合でも河川に流入しない場所に保管している。 【法令上の義務】	-	
		必須	資格を必要とする作業等には、未資格者は従事させない。また、危険を伴う作業には、未熟な作業者等は従事させないようにする。	-	
		必須	資格を必要とする作業や、危険を伴う作業等に必要な力量を身につけるため、作業者に教育訓練を実施している。	-	
30	事故時・事故後の備えを整えている	重要	農作業中の事故の際の応急措置ができるよう、消防隊、消防署等を備え付けている。また、緊急時の連絡体制を整え、病院等の連絡先がわかるよう掲示している。	-	
		重要	万が一の事故に備え、労災保険や傷害共済などに加入している。 【法令上の義務】	-	

5 人権保護

管理点		レベル	適合基準	EIA	評価
31	労働条件を遵守している	必須	労働者を雇用する場合、労働条件を遵守し、「労働者名簿」、「賃金台帳」、「出勤簿」を整備している。 【法令上の義務】	監査	
32	雇用や待遇で差別をしていない	必須	労働者の雇用や待遇に閑い、人種、民族、国籍、宗教、性別によって差別をしない。	-	
33	外国人技能実習生などに快適な住環境を提供している	必須	外国人技能実習生など、外国人雇用がある場合、住環境の提供や労働条件について適切に対応している。	-	
34	労働者とコミュニケーションをとっている	重要	使用者と労働者との間で労働条件、労働環境、労働安全等に関する意見交換を年1回以上実施し、内容を記録している。	監査	

6 個別項目（養液栽培・特定外来生物・エネルギー節減・鳥獣害対策）

管理点		レベル	適合基準	EIA	評価
35	養液栽培の肥料を適切に使用している	重要	養液栽培を行う場合、装置のメンテナンスのほか、培養液の取り替え、再利用の場合の汚染防止、器具の洗浄・消毒等、養液の病原性微生物汚染防止対策や異物混入防止対策を行っている。	-	
36	りんごのかび病汚染対策を実施している	重要	りんごでは、果実が傷つかないようするなど、かび病（ワツリン）汚染の低減対策を実施している。	-	
37	特定外来生物を適正に利用している	必須	セイヨウオオマルハナバチの飼養に関する環境省の許可取得及び適切な飼育管理を行っている。 【法令上の義務】	-	
38	エネルギーの節減対策を実施している	重要	施設、機械等の使用において、不必要・非効率なエネルギー消費の低減に努めている。	-	
39	鳥獣被害対策を実施している	重要	鳥獣を引き寄せない取組み等、有害鳥獣による農業被害防止対策を実施している。	-	

24-5

令和5年度 野菜類耕種的・物理的防除、発生予察に基づく防除

◇ 野菜共通

JAI山形おきたま 野菜振興会

対象病害虫名	防除方法					
病害虫全般	1. ほ場周辺を含め、除草に努める。 2. 連作をしない。					
病害全般	1. 高畦栽培を行うなど、圃場の排水対策を徹底する。 2. 施設栽培では、過湿を防ぐため換気を図る。					
立枯病、青枯病などの土壤病害	1. 土壤を蒸気消毒する。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">病害虫名</td> <td style="padding: 2px;">消毒の方法</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">立枯病、青枯病等の土壤病害</td> <td style="padding: 2px;">60°Cで30分間又は80°C以上10~15分間均一に行う。</td> </tr> </table> 2. 土壤を太陽熱消毒する。 ハウスでは、7月中旬~8月下旬の夏期高温時を利用して、約1ヶ月間ハウスを密閉して高温状態を保ち土壤中の線虫密度を低下させることができる。 また、雑草の防除や土壤病害の抑制にも効果がみられる。		病害虫名	消毒の方法	立枯病、青枯病等の土壤病害	60°Cで30分間又は80°C以上10~15分間均一に行う。
病害虫名	消毒の方法					
立枯病、青枯病等の土壤病害	60°Cで30分間又は80°C以上10~15分間均一に行う。					
ウリ科 ホモブシス 根腐病	①有機物(5~10cmに切断したわら等)10a当たり1~2tと石灰窒素10a当たり100kgを散布して、耕土層によく混ざるようにすき込む。 ②高さ30cm、幅60~70cmの畦を立て、透明のビニール等で地表全面を被覆する。 立枯病、青枯病等の土壤病害 ③ビニールマルチ下の畦間に灌水し、一時浸水状態にする。 ④ハウスを密閉する。ハウスの破損箇所は補修し、出入り口の密閉度をよくする。 ⑤処理期間は20~30日とする。処理後はハウスを開放し、ビニールを除去する。					
ウイルス性病害	1. 発病株は早期に抜取り、適切に処分する。 2. 発病株に触れた手で健全株に触れないようにする。 3. 雜草等に越冬するアブラムシ類(ウイルス保毒)は、ウイルス病(モザイク病)を媒介するため、栽培終了後及び定植前に圃場周辺の除草管理を徹底する。					
菌核病 灰色かび病	1. 過湿にならないようハウス内の換気を図る。 2. 近紫外線除去フィルムを使用する。(受粉用の訪花昆虫を利用する場合、また、紫色の色素を作る作物【なすや食用菊「もってのほか」等】の栽培に適さない。) 3. 発病部は見つけたいたい取り除き、圃場外に搬出し、適切に処分する。					
チョウ目害虫	◇ 物理的防除 1. 施設栽培では、出入り口や側面に寒冷紗を張る。 2. 露地栽培では、飛来を防ぐため、寒冷紗による「うきがけ:スパート支柱の上に被覆」や「べたがけ:作物に直接被覆(パオバオ・ラブシート等)」を行う。 3. 秋冬どり野菜では、は種や定植時期を遅らせる。 ◇ 薬剤防除 1. 交信攪乱剤(性フェロモン剤)による防除。※剤の設置前にフェロモントラップを設置して発生の有無を確認する。					
アブラムシ類	1. 有翅虫の飛来を抑制するため、シルバーストライプマルチを使用する。 2. 施設栽培では、出入り口や側面に寒冷紗を張る。 3. 近紫外線除去フィルムを使用する。(受粉用の訪花昆虫を利用する場合、また、紫色の色素を作る作物【なすや食用菊「もってのほか」等】の栽培に適さない。)					
コナジラミ類	1. 施設栽培では、出入り口や側面に寒冷紗を張る。 2. 近紫外線除去フィルムを使用する。(受粉用の訪花昆虫を利用する場合、また、紫色の色素を作る作物【なすや食用菊「もってのほか」等】の栽培に適さない。)					
アザミウマ類	◇ 耕種的防除 - 施設では成虫の侵入を防止するため開口部に防虫ネット(白色又は赤色、1mm目以下)を設置する。 - 成虫を絶食状態にすると数日で死滅するので、施設では収穫終了後完全に密閉し、更に作物及び雑草を枯死させる。 - 露地の発生ほ場では、収穫が終了したら被害植物は適切に処分する。 - ほ場及びほ場周辺の雑草にも寄生するので、除草を徹底する。 - 近紫外線除去フィルムを使用する。(受粉用の訪花昆虫を利用する場合、また、紫色の色素を作る作物【なすや食用菊「もってのほか」等】の栽培に適さない。) ◇ 発生予察に基づく防除 ほ場内外の作物付近に粘着トラップを設置し、対象病害虫の発生時期や発生量(飛来・侵入・増殖の状況)を早期に把握し、低密度時に防除を徹底する。 ※アブラムシ類、コナジラミ類、ハモグリバエ類は黄色、アザミウマ類は青色に誘引される。					
土壌線虫	◇ 耕種的防除 - 連作を避ける。 - 抵抗性品種を作付けする。 - ネグサレセンチュウの発生しているほ場では、マリーゴールド(フレンチ種またはアフリカントール)を3ヶ月以上栽培(輪作)し、すき込む。 - キタネグサレセンチュウはさといもの輪作で密度を低下させることができる。 - ネコブセンチュウの発生しているほ場では、マリーゴールド(アフリカントール)やクロタラリア、ヘイオーツを3ヶ月以上栽培し、すき込む。 - 早生のえだまめダイズシストセンチュウが発生している場合は収穫後にクロタラリアを70日以上栽培し、すき込む。 なお、十分な生育量が確保できるよう、8月中旬までに播種を行う。 ◇ 物理的防除 上記の立枯病、青枯病等の土壤病害の項「2. 土壤を太陽熱消毒する」参照。					
タネバエ	魚かす、油かす、米ぬか、牛糞、鶏糞、堆肥等、有機物を施用するとタネバエが発生しやすくなる。特に、未熟なものは完熟したものに比べ発生が多くなる。 有機物を施用する場合は、早めに施してすき込むとともに作物の出芽を促すため碎土を丁寧に行う。					
ネキリムシ類	雜草への産卵を抑えるため、圃場周辺も含め、は種前・定植前から除草を徹底する。					
ナメクジ類 カタツムリ類	◇ 耕種的防除 - 湿潤な場所に発生が多いので、ほ場の排水を良くし、ほ場の環境を改善する。 - 飼となる作物残渣や雑草などをほ場内から除去し、清潔にする。 - 石灰の不足した酸性土壌に発生が多いので、定植前に石灰資材を施用し、中性からやや酸性の土壌に改良する。 - 施設栽培では、夏季に太陽熱消毒を行うことによりハウス内のナメクジ類を完全に防除できる。					

【令和4年12月7日現在の登録内容に基づいて記載しています。】

令和5年度　害獣（野鼠・モグラ・イノシシ）対策について

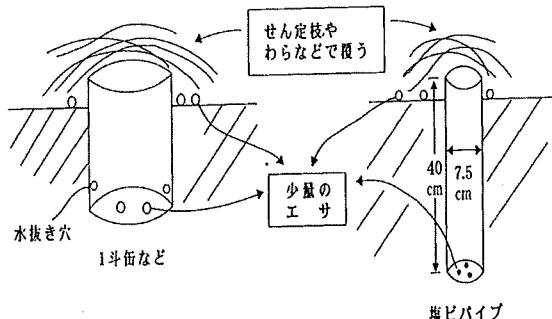
JA山形おきたま　野菜振興会

◆野鼠の防除

耕種的・物理的防除

秋季(根雪前)、春季、夏季に、

- 野鼠が侵入・定着しないよう、ほ場や周辺の清掃・除草や隠れ場所となるような資材の撤去を行う。
- 野鼠の増殖を抑制するため、ほ場内に餌となる農作物残渣(アスパラガスの茎葉など)を残さない。
- ネズミとり器や粘着板を利用する。この際、鼠は暗所を好むこと、また壁などに沿って移動する習性を利用し、ネズミとり器は壁面に肥料袋などで覆って設置する。また、ネズミとり器を設置後数日は、ネズミとり器の周辺に餌をまき警戒心を与えないように配慮する。
- 簡易なトラップを利用した駆除も周年駆除法として有効。
10a当たり5~6か所に、1斗缶や、塩ビパイプ(直径7.5cm×40cm)等を上部1~2cm残して地中に埋め、上部の穴をせん定枝やわらで広く覆い、時々捕獲を確認する。(下図参照)



ハウス内作物の野鼠対策

- 野鼠が侵入・定着しないよう、ハウス内には隠れ場所となるような資材を置かない。
- ハウスの外縁部は内側、外側とも踏み固めておく。
- 野鼠が侵入した場合は、鼠穴や通路(作物の残渣を引き込んだり糞が見られる場所)に金網製の「ネズミとり器」や「粘着板」を置いて捕獲する。
※ ネズミは暗い場所に落ち着き、壁などに沿って移動する習性があるため、捕獲器は、壁面に肥料袋などで覆っておく。捕獲器の設置後数日は捕獲器周辺に餌をまいて捕獲器への警戒心を与えないように配慮する。発生が多い場所では、周年設置して被害を防ぐことと、ハウス周辺の環境をきれいにし同時に防除対策も行う。

薬剤による防除　　水田、畑地、果樹園、桑園は下記の薬剤により防除する。

- 農作物の少ない秋季および春季の防除を徹底する。
- ※ ペットや家畜への二次的な危害を防止するため、家畜施設や住宅地周辺では使用しない。

(1) リン化亜鉛剤

対象害獣	薬剤名	農薬の成分系	使用量	適用場所	使用方法
野ソ	強力ラテミン	リン化亜鉛	1~2g(15~30粒)/ソ穴1ヶ所	農地 山林	ソ穴に1ヶ所当り1~2g(15~30粒)をそのままあるいは小袋詰を投入する。
	Z-P	リン化亜鉛	30~500g/10a	農地 山林	定点配置・ソ穴投入・バラまき等をする。

(2) ダイファシン系粒剤

対象害獣	薬剤名	農薬の成分系	使用量	適用場所	使用方法
野ソ	ヤソヂオン	ダイファシン	200~300g/10a	農地	本剤5gをそのまま、あるいは5gの小袋詰をソ穴に投入するか、野ソの通路に配置する。

◆モグラの防除

耕種的・物理的防除

- 振動を嫌う性質があるので、ほ場のところどころに風車を立て、その振動が地中に伝わるようにする。
- 周囲に深さ1m程度の溝を掘り、ほ場への侵入を防ぐ。
- トンネルの本道に罠を仕掛けて捕殺する。この場合、人のにおいがつかないように素手では持たない。

◆イノシシ対策

イノシシを寄せ付けない環境作りと物理的防除

- ほ場周辺や耕作放棄地の除草を定期的に行い、イノシシの隠れ家となるような場所を作らない。
- イノシシの餌となる農作物残渣(収穫残渣や間引いた株など)をほ場内に残さない。
- ※ 収穫せずに放置された果樹は、イノシシの格好のエサ場となることから、地域の合意の上で可能な限り伐採する。
- 防護柵(電気柵等)を設置し、イノシシの侵入防止に努める。(電気柵は感電防止の為、人が安易に立ち入らない場所に設置し、危険表示板を複数設置する。)

令和5年度 善虫（ナメクジ類・カタツムリ類）・土壤線虫・雑草の防除について

JA山形おきたま 野菜振興会

◆ナメクジ類・カタツムリ類の防除

耕種的・物理的防除

- 湿潤な場所に発生が多いので、ほ場の排水を良くし、ほ場の環境を改善する。
- 飼となる作物残渣や雑草などをほ場内から除去し、清潔にする。
- 施設栽培では、夏季に太陽熱消毒を行うことによりハウス内のナメクジ類を完全に防除できる。

薬剤による防除

対象病害虫	薬剤名	対象作物名	使用量・希釈倍数	適用場所	使用方法	使用回数
カタツムリ類、ナメクジ類	スラゴ	カタツムリ類・ナメクジ類が加害する農作物等	1g～5g/m ²	温室、ハウス、園場、花壇	ナメクジ類及びカタツムリ類の発生あるいは加害を受けた場所又は株元に配置する。	一

※ 注意事項 連続降雨などで多量に水分を含むと効果が落ちるので、晴れ間を狙って防除する。

◆土壤線虫の防除

各薬剤の使用方法

ハウス内で使用する場合は、処理後ハウスを開放し、ガス(薬剤)がハウス内に残らないよう十分注意する。

	薬剤名	使用時期	対象作物名	使用量・希釈倍数 使用方法	使用方法
1	ネマキック粒剤	定植前	きゅうり トマト・ミニトマト なす・メロン	15～20kg/10a 全面土壤混和	1. 定植前に散布する。(詳しくは各作物ごとの使用方法を確認する。) 2. 敷布後、表層から20cm程度の深さまで混和ムラがないようにていねいに土壤と混和する。 3. 土壤が乾燥している時は、使用しない。
2	ガードホープ液剤	(●) 定植後	トマト・ミニトマト メロン	4000倍 土壤灌注	1. メロンは収穫28日前まで、トマト・ミニトマトは収穫前日までに使用する。 2. 処理時にネコブが着生している根は回復しないので、発生初期に使用する。 3. 処理後根系への薬剤の移動を促すため、生育期に使用する場合は早い時期に1m ² 当たり5～20Lの水をかん注する。 4. 作物の葉にからないように散布する。(詳しくは各作物ごとの使用方法を確認する。)

◆雑草の防除

耕種的・物理的防除

- は種(定植)前に間隔をあけて2回耕起することにより雑草の発生を軽減できる。
これは1度軽く耕起することで一斉に雑草を発芽させ、これをは種前にもう一度耕起してすきこむ方法である。
- 水田転作畑では、いったん水田に戻し田畑輪換を行う。
- 中耕(培土)を行う。
- 土壤の蒸気消毒や太陽熱消毒を行う。

野菜に除草剤を使用する場合の一般的留意事項

- 薬量並びに散布面積は正確に秤量、測定する。
- 除草剤を薄める水の量は、噴霧機使用の場合は10a当たり100リットルが目安となるが、必ず登録内容を確認して使用する。
- 薬効は土壤水分との関連が深く、乾燥状態では効果が低い。なお、散布直後の降雨は除草効果を低くするばかりではなく、薬害を起こす危険性もあるので降雨が予想される場合は使用を避ける。
- 土壤処理剤は土壤処理後3～4週間は土壤を攪拌しない方が効果期間が長い。
- 敷設器具及び容器は専用のものを使用し、使用後は石鹼水で十分洗う。
- 催芽種子を播きつけた場合は、薬害の恐れがあるので除草剤の使用は避ける。
- 水田転作畑での使用は、土塊をよく碎き土壤表面を均一にする。
- ハウス内の除草剤の使用は薬害が発生しやすいので避ける。
- 除草剤だけでは完全な除草効果は期待できないので、中耕土寄せ・敷ワラ・ポリマルチ等の総合的な対策を行うことが重要である。
- 敷設に使用した器具及び容器を洗った水や残液は、川や池等に流入しないように注意する。
- はくさい・ほうれんそう・だいこん等では、除草剤を使用した場合は間引いたものを食用にしない。

カソロン粒剤使用跡地の薬害に注意

- カソロン粒剤を使用した圃地では野菜(すいか・かぼちゃ・きく等)は作付けしない。(葉枯れ、生育阻害、発芽阻害、落葉の恐れがある。)

令和5年度 夏秋きゅうり 病害虫防除基準

JA山形おきたま きゅうり振興部会

時期	対象病害虫	薬剤名	使用方法	使用時期 (収穫まで)	効果	使用回数	注意事項
育苗期	苗立枯病	オーソサイド水和剤80	800倍 灌注	は種後から 2~3葉期まで	○	5回	2ℓ/㎡
	アブラムシ類	ダントツ粒剤	1g/株 株元処理	育苗期 後半	-	1回	育苗期の株元処理及び定植時の土壤混和は合計1回以内 購入苗を定植する場合は、育苗期の使用実績を確認すること
定植時	アブラムシ類	ペリマークSC	※1 400株あたり25ml灌注	育苗期 後半~ 定植当日	-	1回	散布量は、400株あたり 2~20ℓ (1株あたり 5~50ml) 育苗期及び定植期の灌注は合計1回とする。
	ダントツ粒剤	2g/株 植穴処理土壤混和	定植時	-	1回	育苗期の株元処理及び定植時の土壤混和は合計1回以内 購入苗を定植する場合は、育苗期の使用実績を確認すること	
斑点細菌病	オリゼーメート粒剤	5g/株 植穴土壤混和	定植時	○	1回	薬害防止のため、軟弱徒長苗には使用しないこと 本剤を処理する場合は植穴の土壤と十分混和すること	
	つる枯病	トップジンMペースト	※2 原液 塗布	発病初期	●	5回	
黒星病	ジマンダイセン水和剤	600倍	散布	前日	○	3回	疫病・褐斑病・炭疽病・べと病にも適用あり
	ベンレート水和剤	2000倍			●	3回	菌核病・炭疽病にも適用あり
べと病	スコア顆粒水和剤	2000倍	散布	前日	●	3回	うどんこ病にも適用あり
	ダコニール1000	※3 1000倍			○	12回	炭疽病・うどんこ病・褐斑病・黒星病にも適用あり
うどんこ病	ドーシャスフロアブル	1000倍	散布	前日	○	4回	炭疽病・うどんこ病・褐斑病・黒星病にも適用あり
	カーニバル水和剤	1000倍			●	3回	炭疽病・うどんこ病・褐斑病にも適用あり
斑点細菌病	プロポーズ顆粒水和剤	※3 ※4 1000倍	散布	前日	●	3回	うどんこ病・褐斑病・黒星病にも適用あり
	ジャストフィットフロアブル	※4 5000倍			●	3回	うどんこ病・褐斑病・黒星病にも適用あり
褐斑病	ホライズンドライフロアブル	2500倍	散布	前日	●	3回	
	ファンベル顆粒水和剤	※5 1000倍			●	3回	褐斑病・菌核病・黒星病・炭疽病にも適用あり
生育期	ラミック顆粒水和剤	※5 1000倍	散布	前日	●	3回	褐斑病にも適用あり
	パンチヨTF顆粒水和剤	2000倍			●	2回	薬液が葉裏にも十分かかるようにする。
斑点細菌病	ペフドー水和剤	※5 500倍	散布	前日	○	7回	うどんこ病・炭疽病・べと病・褐斑病・黒星病・菌核病(1000倍)にも適用あり
	ドキリンフロアブル	1000倍			○	5回	炭疽病・べと病にも適用あり
褐斑病・炭疽病	カスミンボルドー	1000倍	散布	前日	●	5回	うどんこ病・べと病にも適用あり
	カンタストライフロアブル	1500倍			●	3回	菌核病にも適用あり ※薬害防止のため展着剤を加用しない
アブラムシ類	ケンシャフロアブル	1500倍	散布	前日	○	4回	うどんこ病・菌核病にも適用あり
	ダイアメリットDF	※5 1000倍			●	2回	うどんこ病・菌核病にも適用あり
ハダニ類	ゲッターワ和剤	※2 1500倍	散布	前日	●	5回	菌核病にも適用あり
	オーソサイド水和剤80	600倍			○	5回	べと病にも適用あり 育苗期に使用した場合、使用回数は4回まで
アザミウマ類	ベネビアOD	※1 2000倍	散布	前日	-	3回	アザミウマ類・ハモグリバエ類・ウリノメイガにも適用あり
	ダントツ水溶剤	2000倍			-	3回	カメムシ類の適用あり
ミカンキイロアザミウマ	トランスフォームフロアブル	2000倍	散布	前日	-	2回	アブラムシ類はウイルス病を媒介するので初期防除に努める。
	コルト顆粒水和剤	4000倍			-	3回	
アザミウマ類・ウリノメイガ	ウララDF	2000倍	散布	前日	-	3回	
	スターマイドフロアブル	2000倍			-	1回	
ハダニ類	カネマイドフロアブル	1000倍	散布	前日	-	1回	
	コロマイド乳剤	1000倍			-	2回	コロマイド乳剤とアグリメックは、同一系統薬剤のため連用を避ける。
アザミウマ類・ウリノメイガ	アグリメック	※6 1000倍	散布	前日	-	2回	アザミウマ類にも適用あり
	アーデント水和剤	1000倍			-	4回	ハダニ類・アブラムシ類にも適用あり
アザミウマ類・ウリノメイガ	ハチハチ乳剤	※6 1000倍	散布	前日	-	2回	アブラムシ類・ウリノメイガ・うどんこ病・褐斑病・べと病にも適用あり
	グレーシア乳剤	2000倍			-	2回	ハモグリバエ類・ハスモンヨトウ・ハダニ類にも適用あり
ウリノメイガ	ディアナSC	2500倍	散布	前日	-	2回	ハモグリバエ類にも適用あり
	プレバシンフロアブル5	2000倍			-	3回	ハモグリバエ類にも適用あり

(○予防効果が期待できる。 ●予防・治療効果が期待できる。)

※1 ペリマークSC、ベネビアODは同一成分（シアントラニリプロール）を含むため、総使用回数は4回以内とする。

※2 トップジンMベースト、ゲッターワ和剤は同一成分（チオファネートメチル）を含むため、総使用回数は6回以内とする。

※3 ダコニール1000、ドーシャスフロアブル、カーニバル水和剤、プロポーズ顆粒水和剤は同一成分（TPN）を含むため、総使用回数12回以内とする。

※4 プロポーズ顆粒水和剤、ジャストフィットフロアブルは同一成分（ベンチアパリカルブソロブリル）を含むため、総使用回数は3回以内とする。

※5 ファンベル顆粒水和剤、ラミック顆粒水和剤、ペフドー水和剤、ダイアメリットDFは同一成分（イミノクダジン）を含むため、総使用回数は7回以内とする。

※6 使用回数は薬剤の1作期における最高散布回数である。

※病害虫の発生防止には耕種的・物理的防除を実施する。また発生予察を実施し、適期防除に努める。

展着剤

展着剤名	適用農業名	使用量	説明
アピオン-E	殺菌剤・殺虫剤	散布液100ℓ当り100ml	薬剤の被膜層を厚くし付着量を多くし固着性に優れる。雨前散布や保護殺菌剤散布に。
アプローチBI	殺菌剤・殺虫剤	散布液100ℓ当り100ml	湿展性・浸透性の効果がある。
スカッシュ	殺菌剤・殺虫剤	散布液100ℓ当り100ml	植物表面に広がり、均一に付着させるので、果実や葉の汚れが少なくなる。

除草剤

薬剤名	適用雑草名	使用量（散布液量）	使用方法	使用回数	使用時期
クレマート乳剤	一年生雜草	10a当り200~400ml (水量100~150ℓ)	全面土壤散布	1回	定植前(雑草発生前)
ザクサ液剤	一年生雜草	10a当り300~500ml (水量100~150ℓ)	雑草茎葉散布	3回	収穫前日まで(雑草生育期 定植前又は畦間処理)

【令和4年12月7日現在の登録内容に基づいて記載しています。】

令和5年度 ハウスきゅううり 病害虫防除基準

JA山形おきたま きゅううり振興部会

時期	対象病害虫	薬剤名	使用方法	使用時期 (収穫まで)	効果	使用回数	注意事項
育苗期	苗立枯病	オーソサイド水和剤80	800倍 灌注	は種後 2~3葉期	○	5回	20/m ²
	アブラムシ類	ダントツ粒剤	1g/株 株元処理	育苗期 後半	-	1回	育苗期の株元処理及び定植時の土壤混和は合計1回以内
育苗期後半		ベリマークSC	400株あたり25mL灌注	育苗期後半 ~定植当日	-	1回	育苗期及び定植期の灌注は1回とする。散布量は、1株あたり5~50mL
	定植前	ネコブセンチュウ	ネマキック粒剤	20kg/10a 全面土壤混和	定植前	-	1回
定植時	アブラムシ類	ダントツ粒剤	2g/株 植穴処理土壤混和	定植時	-	1回	育苗期の株元処理及び定植時の土壤混和は合計1回以内 購入苗を定植する場合は、育苗期の使用実績を確認すること。
		モスピラン粒剤	1g/株 株元散布		-	1回	
生育期	黒星病	ペフドー水和剤	※1	500倍	散布	前日	○ 7回 褐斑病・炭疽病・ベト病・うどんこ病・斑点細菌病・菌核病(1000倍散布)・灰色かび病にも適用あり
		スコア顆粒水和剤		2000倍			● 3回 うどんこ病にも適用あり
		ベンレート水和剤		2000倍			● 3回 菌核病・炭疽病・灰色かび病にも適用あり
	ベト病	ダコニール1000	※2	1000倍	散布	前日	○ 12回 うどんこ病・褐斑病・黒星病・炭疽病・灰色かび病にも適用あり
		ランマンプロアブル	※3	1000倍			● 4回
		カーニバル水和剤	※2	1000倍			● 3回 うどんこ病・炭疽病・褐斑病にも適用あり
		プロポーズ顆粒水和剤	※2	1000倍			● 3回 うどんこ病・褐斑病・黒星病にも適用あり
		ホライズンドライプロアブル		2500倍			● 3回
	褐斑病	ケンジャプロアブル		1500倍	散布	前日	○ 4回 うどんこ病・菌核病・灰色かび病にも適用あり
		カンタスドライプロアブル		1500倍			● 3回 菌核病・灰色かび病にも適用あり ※収斂防止のため展着剤を加用しない。
	褐斑病・炭疽病	ジマンダイセン水和剤	※4	600倍	散布	前日	○ 3回 黒星病・斑点細菌病・ベト病にも適用あり
		ペフドー水和剤	※1	500倍			○ 7回 黒星病・灰色かび病・斑点細菌病・ベト病・菌核病(1000倍散布)にも適用あり
		ドーシャスプロアブル	※2	1000倍			○ 4回 うどんこ病・黒星病・ベト病にも適用あり
		ダイアメリットDF	※1	1000倍			● 2回 うどんこ病・菌核病・灰色かび病にも適用あり
		ゲッター水和剤	※5	1500倍			● 5回 菌核病・灰色かび病にも適用あり
	うどんこ病	フルピカプロアブル		2000倍	散布	前日	○ 4回 褐斑病・灰色かび病にも適用あり
		アフェットプロアブル		2000倍			○ 3回 菌核病・灰色かび病にも適用あり
		ラミック顆粒水和剤	※1	1000倍			● 3回 褐斑病・灰色かび病にも適用あり
		テーク水和剤	※4	600倍			● 3回 褐斑病・炭疽病・灰色かび病・ベト病にも適用あり
		パンチオTF顆粒水和剤		2000倍			● 2回
	菌核病 灰色かび病	ファンベル顆粒水和剤	※1	1000倍	散布	前日	● 3回 うどんこ病・褐斑病・黒星病・炭疽病にも適用あり
		ピクシオDF		2000倍			● 4回
		ゲッター水和剤	※5	1500倍			● 5回 褐斑病・炭疽病にも適用あり
		スマフレンド水和剤	※5	1500倍			● 5回 褐斑病にも適用あり
		スターマイプロアブル		2000倍			
	ハダニ類	カネマイプロアブル		1000倍	散布	前日	- 1回
		コロマイト乳剤		1000倍			- 1回
		アグリメック	(■)	1000倍			- 2回 コナジラミ類にも適用あり - 2回 アザミウマ類・コナジラミ類にも適用あり
		アーデント水和剤		1000倍			コロマイト乳剤とアグリメックは、同一系統薬剤のため連用を避ける。
アブラムシ類 ウリノメイガ	アブラムシ類 ミカンキヨロアザミウマ	チエス顆粒水和剤		5000倍	散布	前日	- 3回 オンシツコナジラミ・ハダニ類にも適用あり
		コルト顆粒水和剤		4000倍			- 3回
		ベストガード水溶剤		1000倍			- 3回
		ウララDF		2000倍			- 3回
	アザミウマ類 ウリノメイガ	ハチハチ乳剤	(■)	1000倍	散布	前日	- 2回 コナジラミ類・アブラムシ類・うどんこ病・褐斑病・ベト病にも適用あり
		グレーシア乳剤		2000倍			2回 コナジラミ類・ハモグリバエ類・ハスモンヨトウ・ハダニ類にも適用あり
		ディアナSC		2500倍			2回 コナジラミ類・ハモグリバエ類にも適用あり
	ウリノメイガ	プレバソンプロアブル5		2000倍	散布	前日	- 3回 ハモグリバエ類にも適用あり

(○予防効果が期待できる。 ●予防・治療効果が期待できる。)

※1 ベフドー水和剤、ダイアメリットDF、ラミック顆粒水和剤、ファンベル顆粒水和剤は同一成分（イミノクタジン）を含むため、総使用回数は7回以内とする。

※2 ダコニール1000、カーニバル水和剤、プロボーズ顆粒水和剤、ドーシャスプロアブルは同一成分（TPN）を含むため、総使用回数12回以内とする。

※3 ランマンプロアブル、ドーシャスプロアブルは同一成分（シアソファミド）を含むため、総使用回数は4回以内とする。

※4 ジマンダイセン水和剤、テーク水和剤は同一成分（マンゼブ）を含むため、総使用回数を3回以内とする。

※5 ゲッター水和剤、スマフレンド水和剤は同一成分（ジエトフェンカルブ）を含むため、総使用回数は5回以内とする。

※使用回数は薬剤の1作期における最高散布回数である。

※病害虫の発生防止には耕種的・物理的防除を実施する。また発生予察を実施し、適期防除に努める。

展着剤

展着剤名	適用農業名	使用量	説明
アビオン-E	殺菌剤・殺虫剤	散布液1000当り100mL	薬剤の被膜層を厚くし付着量を多くし固着性に優れる。
アプローチBI	殺菌剤・殺虫剤	散布液1000当り100mL	湿潤性・浸透性の効果がある。
スカッシュ	殺菌剤・殺虫剤	散布液1000当り100mL	植物表面に広がり、均一に付着させるので果実や葉の汚れが少なくなる。

除草剤

薬剤名	適用雑草名	使用量（散布液量）	使用方法	使用回数	使用時期
クレマート乳剤	一年生雑草	10a当り200~400mL (水量100~150L)	全面土壤散布	1回	定植前(雑草発生前)
ザクサ液剤	一年生雑草	10a当り300~500mL (水量100~150L)	雑草茎葉散布	3回	収穫前日まで(雑草生育期 定植前又は畦間処理)

【令和4年12月7日現在の登録内容に基づいて記載しています。】

令和5年度 ハウス大玉トマト 病害虫防除基準

JJA山形おきたま トマト振興部会

時 期	対象病害虫	薬 剤 名	使用方法	使用時期 (収穫まで)	効 果	使 用 回 数	注意事項
育苗期	苗立枯病	オーソサイド水和剤80	800倍 灌注	は種後から 2~3葉期まで	○	5回	2L/m ²
	アブラムシ類 コナジラミ類	ダントツ粒剤	1g/株 株元処理	育苗期	-	1回	マルハナバチ利用の場合は使用しない。
	アザミウマ類	※ 生育期『オオタバコガ・トマトサビダニ・アザミウマ類・アブラムシ類・コナジラミ類』防除薬剤欄をご参照下さい。					黄化えそ病 等 ウィルス病対策として実施する。
育苗期 後半	アザミウマ類 アブラムシ類 コナジラミ類 ハモグリバエ類	ペリマークSC	25ml/400株 灌注	育苗期後半 ~定植当日	-	1回	※使用例 400倍の希釈液を1ポットあたり25ml灌注する。
	定植前 土壌線虫	※ 8ページ『土壤線虫』防除らんをご参照下さい。					
定植時	アブラムシ類 コナジラミ類	ダントツ粒剤	2g/株 植穴処理土壌混和	定植時	-	1回	育苗期に使用した場合は定植時には使用しない。 マルハナバチ利用の場合は使用しない。
生育期	疫 病	ランマンフロアブル	1000倍	散布	前日	●	4回
		サンプロDMフロアブル	1500倍			●	3回
	葉かび病 すすかび病	ダコニール1000 ※1	1000倍	散布	前日	○	4回 うどんこ病・疫病・灰色かび病にも適用あり
		アミスター・オブティフロアブル ※1	1000倍			●	4回 疫病・灰色かび病・斑点病にも適用あり
		シグナムWDG	2000倍			●	2回 うどんこ病・灰色かび病にも適用あり
		プリザード水和剤 ※1	1200倍			●	3回 疫病にも適用あり
	うどんこ病	ベルクートフロアブル ※3	2000倍	散布	前日	○	3回 すすかび病・灰色かび病・葉かび病にも適用あり
		ファンペル顆粒水和剤 ※2 ※3	1000倍			●	3回 灰色かび病・葉かび病・すすかび病にも適用あり
		パンチョTF顆粒水和剤	2000倍			●	2回
	灰色かび病	アフェットフロアブル	2000倍	散布	前日	○	3回 うどんこ病・葉かび病・すすかび病にも適用あり
		フルピカフロアブル	2000倍			○	4回
		ピクシオDF	2000倍			●	4回
		ファンタジスタ顆粒水和剤 ※2	2000倍			●	3回 すすかび病・葉かび病・斑点病にも適用あり
		ゲッター水和剤	1000倍			●	5回 葉かび病にも適用あり
	オオタバコガ トマトサビダニ ミカンキイロアザミウマ	アニキ乳剤	2000倍	散布	前日	-	3回 コナジラミ類・ハスモンヨトウ・ハモグリバエ類にも適用あり
		コテツフロアブル (劇)	2000倍			-	3回 ナミハダニにも適用あり
		マツチ乳剤	2000倍			-	4回 コナジラミ類にも適用あり ハスモンヨトウ(3000倍)・ハモグリバエ類(1000倍)にも適用あり
オオタバコガ	フェニックス顆粒水和剤	2000倍	散布	前日	-	2回	ハスモンヨトウにも適用あり
アザミウマ類	スピノエース顆粒水和剤	5000倍	散布	前日	-	2回	オオタバコガ・ハモグリバエ類にも適用あり
アブラムシ類 コナジラミ類	トランスマーフロアブル	2000倍	散布	前日	-	2回	トマトサビダニにも適用あり
	ウララDF	2000倍			-	3回	ミカンキイロアザミウマにも適用あり
	コルト顆粒水和剤	4000倍			-	3回	※セイヨウオオマルハナバチの場合は3日
	チエス顆粒水和剤	5000倍			-	3回	
着果促進 果実の肥大促進 熟期の促進	トマトトーン	20℃以上 100倍 20℃以下 50倍	1花房で3~5花位 開花した時期 1花房あたり1回				
空洞果防止	ジベレリン液剤、粉末	10ppm 1花房あたり5ml	開花時花房散布 (1花房あたり1回)				トマトトーンと併用する ※ジベレリン錠剤は登録が無いため、使用しないこと。

(○予防効果が期待できる。 ●予防・治療効果が期待できる。)

※1 ダコニール1000、アミスター・オブティフロアブル、プリザード水和剤は同一成分(TPN)を含むため、総使用回数は4回以内とする。

※2 ファンペル顆粒水和剤、ファンタジスタ顆粒水和剤は同一成分(ビリベンカルブ)を含むため、総使用回数は3回以内とする。

※3 ファンペル顆粒水和剤、ベルクートフロアブルは同一成分(イミノクタジン)を含むため、総使用回数は3回以内とする。

※マルハナバチを使用する場合は、農業散布後の安全日数クリアを確認してからハウス内に放し飼いする。

※使用回数は薬剤の1作期における最高散布回数である。

※病害虫の発生防止には耕種的・物理的防除を実施する。また発生を予察して、適期防除に努める。

農着剤

農着剤名	適用農薬名	使 用 量	説 明
スカッシュ	殺菌剤・殺虫剤	散布液100L当り100ml	植物表面に広がり、均一に付着させてるので、果実や葉の汚れが少なくなる。

除草剤

薬 剤 名	適用雑草名	使 用 量 (散布液量)	使 用 方 法	使 用 回 数	使 用 時 期
ザクサ液剤	一年生雑草	10L当り300~500ml (水量100~150L)	雑草茎葉散布	3回	収穫前日まで(雑草生育期定植前又は畦間処理)

【令和4年12月7日現在の登録内容に基づいて記載しています。】

令和5年度 ミニトマト 病害虫防除基準

JA山形おきたま トマト振興部会

時期	対象病害虫	薬剤名	使用方法	使用時期 (収穫まで)	効果	使用回数	注意事項
育苗期	苗立枯病	バシタック水和剤75	1000倍 3L/m ² 土壤灌注	は種時～ 子葉展開時	○	1回	
	アブラムシ類	ダントツ粒剤	※3 1g/株 株元処理	育苗期	—	1回	マルハナバチ利用の場合は使用しない。
	アザミウマ類	※ 生育期『オオタバコガ・トマトサビダニ・アザミウマ類・アブラムシ類・コナジラミ類』防除薬剤欄をご参照下さい。					
育苗期後半	アザミウマ類 アブラムシ類 コナジラミ類 ハモグリバエ類	ベリマークSC	25ml/400株 灌注	育苗期後半～定植当日	—	1回	※使用例 400倍の希釈液を1ポットあたり25ml灌注する。
定植前	土壌線虫	※ 8ページ『土壌線虫』防除らんをご参照下さい。					
定植時	アブラムシ類 コナジラミ類	ダントツ粒剤	2g/株 植穴処理土壤混和	定植時	—	1回	育苗期に使用した場合は定植時に使用しない。 マルハナバチ利用の場合は使用しない。
		モスピラン粒剤	1g/株 植穴土壤混和		—	1回	
生育期	疫病	ホライズンドライフロアブル	1500倍	散布	前日	● 3回	
		ランマンフロアブル	1000倍			● 4回	
	葉かび病 すすかび病	ペルクートフロアブル	4000倍			○ 2回	うどんこ病・灰色かび病・斑点病にも適用あり
		ダコニール1000	※4 1000倍			○ 2回	疫病・うどんこ病・灰色かび病・斑点病にも適用あり
		アミスター・オプティフロアブル	※4 1000倍			● 2回	疫病・炭疽病・灰色かび病・斑点病にも適用あり
		トリフミン水和剤	※1 3000倍			● 5回	
		シグナムWDG	※2 2000倍			● 2回	うどんこ病・灰色かび病にも適用あり
		ファンタジスタ顆粒水和剤	3000倍			● 3回	灰色かび病・斑点病にも適用あり
	葉かび病	ホライズンドライフロアブル	2500倍	散布	前日	● 3回	
	うどんこ病	パンチョTF顆粒水和剤	※1 2000倍			● 2回	
	灰色かび病	アフェットフロアブル	2000倍			○ 3回	うどんこ病・葉かび病・すすかび病・斑点病・菌核病にも適用あり
		フルピカフロアブル	2000倍			○ 4回	
		カンタスドライフロアブル	※2 1500倍			○ 3回	葉かび病にも適用あり 葉害防止のため展着剤を加用しない
		ピクシオDF	2000倍			● 4回	
	斑点病	ロブラーール水和剤	1000倍	散布	前日	● 3回	灰色かび病にも適用あり ※耐性菌出現防止の為、連用は避ける。
	オオタバコガ トマトサビダニ ミカンキイロアザミウマ	アニキ乳剤	2000倍			— 3回	コナジラミ類・ハスモンヨトウ・ハモグリバエ類にも適用あり
		コテツフロアブル	※3 2000倍			— 3回	ナミハダニにも適用あり
		マツチ乳剤	2000倍			— 2回	コナジラミ類にも適用あり ハスモンヨトウ(3000倍)にも適用あり
	オオタバコガ	フェニックス顆粒水和剤	2000倍			— 2回	ハスモンヨトウにも適用あり
	アザミウマ類	スピノエース顆粒水和剤	5000倍	散布	前日	— 2回	オオタバコガ・ハモグリバエ類にも適用あり
	アブラムシ類 コナジラミ類	ダントツ水溶剤	※3 2000倍			— 3回	ハモグリバエ類にも適用あり
		トランスフォームフロアブル	2000倍			— 2回	トマトサビダニにも適用あり
		チエス顆粒水和剤	5000倍			— 3回	
		ウララDF	2000倍			— 3回	ミカンキイロアザミウマにも適用あり
着果促進 果実の肥大促進 熟期の促進	トマトトーン	20℃以上 20℃以下	100倍 50倍	開花前3日～ 開花後3日位 1花につき1回			

(○予防効果が期待できる。 ●予防・治療効果が期待できる。)

※1 トリフミン水和剤、パンチョTF顆粒水和剤は同一成分(トリフルミゾール)を含むため、総使用回数は5回以内とする。

※2 シグナムWDG、カンタスドライフロアブルは同一成分(ボスカリド)を含むため、総使用回数は3回以内とする。

※3 ダントツ粒剤、ダントツ水溶剤は同一成分(クロチアニジン)を含むため、総使用回数は4回以内とする。

(但し、育苗期の株元処理及び定植時の土壤混和は合計1回以内、散布及び定植後の株元散布は合計3回以内)

※4 ダコニール1000、アミスター・オプティフロアブルは同一成分(TPN)を含むため、総使用回数は2回以内とする。

※使用回数は薬剤の1作期における最高散布回数である。

※病害虫の発生防止には耕種的・物理的防除を実施する。また、発生予察を実施し適期防除に努める。

展着剤

展着剤名	適用農薬名	使用量	説明
スカッッシュ	殺菌剤・殺虫剤	散布液1000当り100ml	植物表面に広がり、均一に付着させるので、果実や葉の汚れが少なくなる。

除草剤

除草剤名	適用雑草名	使用量(散布液量)	使用方法	使用回数	使用時期
ザクサ液剤	一年生雑草	10a当り300～500ml (水量100～150L)	雑草茎葉散布	3回	収穫前日まで(雑草生育期定植前又は畦間処理)

【令和4年12月7日現在の登録内容に基づいて記載しています。】

令和5年度 ハウスメロン 病害虫防除基準

JA山形おきたま メロン振興部会

時 期	対象病害虫	薬 剤 名	使用方法	使用時期 (収穫まで)	効 果	使 用 回 数	注意事項
床土準備	つる割病	クロルピクリン鈍剤	1錠/(30cm×30cm)1穴 土壤くん蒸	○	1回		床土を30cmの高さに積み30×30cm毎に1錠/1穴処理する。被覆を取り除いて5~7日後に切り返しを行いガス抜きを行う。
ハウス準備	黒点根腐病・つる割病	ガスターD微粒剤	30kg/10a 土壤混和	定植 21日前	○	1回	土壤消毒は土壤を耕起整地した後、本剤の所定量を均一に散布して深さ15~25cmに土壤と十分混和し、7~14日間ビニール等で被覆する。2回以上耕起し、ガス抜きを行う。散布後21日以上経てから作付けする。
	ネコブセンチュウ	ネマキック粒剤	20kg/10a 全面土壤混和	定植前	-	1回	
育苗期	アブラムシ類	アドマイヤー1粒剤	1g/株 株元散布	育苗期 後半	-	1回	※育苗期後半に使用した場合は定植時には使用しない。茎葉・根に薬剤が直接触れないように注意する。
	斑点細菌病 べと病	ジマンダイセン水和剤	※2	600倍 敷布	7日前	○ 5回	
定植時	アブラムシ類	アドマイヤー1粒剤	2g/株 植穴または 株元土壤混和	定植時	-	1回	育苗期に使用した場合は定植時には使用しない。茎葉・根に薬剤が直接触れないように注意する。
活着後	つる枯病・べと病 うどんこ病	ダコニール1000	※1	1000倍 700倍 敷布	3日前	○ 5回	「ダコニール1000」、「プロポーズ顆粒水和剤」を3回以上連用すると茎葉の硬化が見られる。
	つる枯病 菌核病	ロブラー水和剤		1000倍 敷布	前日	○ 4回	耐性菌出現防止のため連用を避ける。
生育前期 (交配まで)	アブラムシ類 コナジラミ類	ウララDF		2000倍 敷布	前日	-	2回 訪花昆虫に対する安全性高い。
	つる枯病 うどんこ病	ケンジャフロアブル		1500倍 敷布	前日	○ 3回	
	ハダニ類	スターマイクロアブル		2000倍 敷布	前日	-	1回 ※発生時に単用散布する。
	べと病	ホライズンドライフロアブル		2500倍 敷布	前日	● 3回	
	ウリノメリガ	アファーム乳剤		2000倍 敷布	前日	-	2回
生育後期 (交配後)	アブラムシ類	チエス顆粒水和剤		5000倍 敷布	3日前	-	4回
	ウリノメリガ オオタバコガ	フェニックス顆粒水和剤		2000倍 敷布	前日	-	2回
	ハダニ類	コロマイト乳剤		1000倍 敷布	前日	-	2回 ※発生時に単用散布する。
	アブラムシ類 ハダニ類	アーデント水和剤		1000倍 敷布	前日	-	5回 交配前にアブラムシ類・ハダニ類の防除は徹底しておく。
	うどんこ病	テーク水和剤	※2	600倍 敷布	7日前	● 5回	つる枯病、べと病にも適用あり。
ネット発生 盛期	つる枯病・べと病	プロポーズ顆粒水和剤	※1	1000倍 敷布	3日前	● 5回	
	うどんこ病・つる枯病	ネクスターフロアブル		1000倍 敷布	前日	○ 3回	
	うどんこ病	イオウフロアブル		500倍 敷布	—	○ —	高温時の散布は避ける。
	コナジラミ類 ハダニ類 ウリノメリガ	グレーシア乳剤		2000倍 敷布	前日	-	2回 アザミウマ、ハモグリバエ類にも適用あり
ネット発生 後期	アブラムシ類 コナジラミ類	アドマイヤー水和剤	●	2000倍 敷布	3日前	-	3回
	うどんこ病・つる枯病	ポリベリン水和剤		1500倍 敷布	前日	● 5回	
	べと病・つる枯病	アミスター20フロアブル		2000倍 敷布	前日	● 4回	うどんこ病にも適用あり。高温多湿条件で薬害の恐れがあるので注意する。展着剤は加用しない。
	うどんこ病	パンチョTF顆粒水和剤		2000倍 敷布	前日	● 2回	交配2~3日前から交配後20日までは使用しない。
成熟期	アブラムシ類	アクタラ顆粒水溶剤		3000倍 敷布	前日	-	3回 収穫までの日数を考慮し、安全使用基準を遵守する。
	うどんこ病・つる枯病	ネクスターフロアブル		1000倍 敷布	前日	○ 3回	
収穫前	※収穫日が予定より早い場合を想定し、余裕をもって薬剤散布を打ち切る。						(○予防効果が期待できる。 ●予防・治療効果が期待できる。)

※1 ダコニール1000、プロポーズ顆粒水和剤は同一成分(TPN)を含むため、総使用回数は5回以内とする。

※2 ジマンダイセン水和剤、テーク水和剤は同一成分(マンゼブ)を含むため、総使用回数は5回以内とする。

※使用回数は薬剤の1作期における最高散布回数である。

※病害虫の発生防止には耕種的・物理的防除を実施する。また、発生予察を実施し適期防除に努める。

※抵抗性品種(えぞ斑点病対策)の導入を図る。また、発病株は早期に抜き取り適切に処分する。

展着剤

適用農業名	展着剤名	使 用 量	説 明			
殺菌剤・殺虫剤	アピオン-E	散布液1000当り100ml	薬剤の被膜層を厚くし付着量を多くし固着性に優れる。保護殺菌剤・予防剤加用で効果。			
殺菌剤・殺虫剤	アプローチBI	散布液1000当り100ml	湿透性・浸透性があり加用する農薬の薬害が少ない。治療型殺菌剤への加用効果大。			
殺菌剤・殺虫剤	スカッシュ	散布液1000当り100ml	植物表面に広がり、均一に付着させてるので果実や葉の汚れが少なくなる。			

除草剤

適用雑草名	薬 剤 名	使 用 量 (散布液量)	使 用 方 法	使 用 時 期	使 用 回 数	注意事項
一年生雑草	クレマート乳剤	10a当り200~400ml (水量100~150l)	全面土壤散布	定植・マルチ前 (雑草発生前)	1回	多年生雑草・キク科・ツユクサには効果が劣る。
一年生雑草	ザクサ液剤	10a当り300~500ml (水量100~150l)	雑草茎葉散布	収穫30日前まで (雑草生育期定植前又は畦間処理)	2回	散布液が作物へ飛散しないように注意する。

【令和4年12月7日現在の登録内容に基づいて記載しています。】

令和5年度 ねぎ 病害虫防除基準

JA山形おきたま ねぎ振興部会

時期	対象病害虫	薬剤名	使用方法	使用時期 (収穫まで)	効果	使用回数	注意事項
育苗期 ～生育期	べと病・黒斑病	ダコニール1000 ※1	1000倍 敷布	14日前	○	3回	
	アザミウマ類 ネギハモグリバエ	ダイアジン乳剤40 (劇)	1000倍 敷布	21日前	－	2回	
育苗期後半 ～定植日	ネギアザミウマ ネギハモグリバエ	ジュリボフロアブル	200倍 灌注	育苗期後半 ～定植当日	－	1回	セル成型育苗トレ1箱またはペーパーポット1冊 (30×60cm・使用土壤約1.5～4.0L) 当り0.5L タネネギハモグリバエ・ネギリムシ類にも適用あり 茎葉・根に薬剤が直接触れないように注意する。
定植前日 ～定植時	アザミウマ類 ハモグリバエ類 タネバエ・ネコガ	スタークル顆粒水溶剤	50倍 灌注	定植前日 ～定植時	－	1回	セル成型育苗トレ1箱またはペーパーポット1冊 (30×60cm・使用土壤約1.5～4.0L) 当り0.5L タネネギハモグリバエ・ネギリムシ類にも適用あり 茎葉・根に薬剤が直接触れないように注意する。
定植時	ネギアザミウマ ネギハモグリバエ	ベストガード粒剤	6kg/10a 植溝処理土壤混和	定植時	－	1回	茎葉・根に薬剤が直接触れないように注意する。
	ネギアザミウマ ネギハモグリバエ	カルホス微粒剤F (劇)	6kg/10a 土壤表面散布土壤混和処理	植付時	－	1回	
生育期	軟腐病	オリゼメート粒剤	6kg/10a 株元散布	30日前	○	2回	土寄せ時に使用する。(土寄せ前に株元散布した後、土寄せを行う。)
		クブロシールド	1000倍	－	○	－	べと病にも適用あり
		バリダンシ液剤5	500倍	前日	○	2回	白綿病にも適用あり
		スターナ水和剤	※2 2000倍	7日前	○	3回	
		カセット水和剤	※2 1000倍	14日前	●	2回	
		カスミンボルドー	※3 1000倍	14日前	●	2回	
	白綿病	ユニフォーム粒剤	※4 9kg/10a 株元土壤混和	土寄せ時 45日前	○	1回	べと病・さび病にも適用あり
		ジマンダイセン水和剤	※5 600倍	14日前	○	3回	黒斑病・さび病にも適用あり
		ヨネポン水和剤	500倍	7日前	○	4回	さび病・黒斑病・軟腐病にも適用あり 高温時の使用は蒸霧の恐れがあるので注意。
	べと病	プロポーズ顆粒水和剤	※1 1000倍	14日前	●	3回	葉枯病にも適用あり
		サンプロDMフロアブル	1500倍	14日前	●	3回	
		アリエッティ水和剤	800倍	3日前	●	3回	
	黒斑病	ロブラー水和剤	1000倍	散布	14日前	●	3回
	さび病	ジマンダイセン水和剤	※5 600倍	散布	14日前	○	3回 黒斑病・べと病にも適用あり
		テーク水和剤	※5 600倍	散布	14日前	○	3回 べと病・黒斑病・葉枯病にも適用あり
		アフェットフロアブル	2000倍	散布	前日	○	2回 黒斑病・小菌核腐敗病・白綿病・葉枯病にも適用あり
		オンリーワンフロアブル	1000倍	散布	14日前	●	3回 黒斑病にも適用あり
		サプロール乳剤	1000倍	散布	前日	●	5回
	べと病・さび病・黒斑病・黄斑病・葉枯病	アミスター20フロアブル	※4 2000倍	散布	3日前	●	4回 ●発生時に使用する。 耐性菌出現防止のため連用は避ける
アザミウマ類	ファインセーブフロアブル (劇)	2000倍	散布	3日前	－	2回 ネギハモグリバエにも適用あり	
アブラムシ類	ダントツ粒剤	6kg/10a 株元散布	3日前	－	4回		
	コルト顆粒水和剤	2000倍 敷布	散布	－	3回 アブラムシ類にも適用あり		
	アグラスリン乳剤	※1 2000倍 敷布	散布	7日前	－	5回 アザミウマ類・ネギハモグリバエ・ネギガ (1000倍) にも適用あり シロイチモジョウ (1000倍) にも適用あり	
シロイチモジョウ	ブレオフロアブル	1000倍 敷布	散布	3日前	－	4回 ネギアザミウマにも適用あり	
	アニキ乳剤	1000倍 敷布	散布	－	3回 ネギアザミウマ・ネギガ・ハモグリバエ類にも適用あり		
	ディアナSC	2500倍 敷布	散布	前日	－	2回 アザミウマ類・ネギハモグリバエ・ネギガにも適用あり	
アザミウマ類 ハモグリバエ類 シロイチモジョウ	グレーシア乳剤	2000倍 敷布	散布	7日前	－	2回 ネギガにも適用あり	
	ベネピアOD	2000倍 敷布	散布	前日	－	3回 ジュリボフロアブル、ベネピアODは同一成分とみなして抵抗性病害出現防止のため連用を避ける。	

(○予防効果が期待できる。 ●予防・治療効果が期待できる。)

※1 ダコニール1000、プロポーズ顆粒水和剤は同一成分 (TPN) を含むため、総使用回数は3回以内とする。

※2 スターナ水和剤、カセット水和剤は同一成分 (オキソリニック酸) を含むため、総使用回数は3回以内とする。

※3 カセット水和剤、カスミンボルドーは同一成分 (カスガマイシン) を含むため、総使用回数は2回以内とする。

※4 ユニフォーム粒剤、アミスター20フロアブルは、同一成分 (アゾキシストロビン) を含むため、耐病菌出現防止のため連用は避け、総使用回数は粒剤は1回以内、水和剤は4回以内とする。

※5 ジマンダイセン水和剤、テーク水和剤は同一成分 (マンゼブ) を含むため、総使用回数は3回以内とする。

※使用回数は薬剤の1作期における最高散布回数です。

※病害虫の発生防止には耕種的・物理的防除を行います。また発生を予察して、適期防除に努めましょう。

着着剤

適用農業名	着着剤名	使用量	説明
殺菌剤・殺虫剤	ワイドコート	散布液1000当り33ml	薬剤をムラなく抜け落ちづらくする。均一付着により汚れ少ない。 少量散布でも農薬本来の効果を引き出す。
殺菌剤・殺虫剤	アピオン-E	散布液1000当り100ml	薬剤の被膜層を厚くし固着性に優れ、雨前散布や保護剤散布に。
殺菌剤・殺虫剤	アプローチBI	散布液1000当り100ml	浸透性・浸透性に優れ、治療効果がある殺菌剤や殺虫剤散布に。
殺菌剤・殺虫剤	ミックスパワー	散布液1000当り33ml	浸透性・浸透性に優れ、均一付着により汚れ少ない。殺虫剤の降雨間散布に。 ※使用倍数3000倍を守る。

除草剤

時期	適用雑草名	薬剤名	使用量 (散布量)	使用方法／使用時期／使用回数	注意事項
定植前	一年生雑草	ラウンドアップマックスロード	10a当り200～500ml (水量50～100l)	雑草茎葉散布 耕起前又は定植5日前まで	3回 少量散布の散布量(5～50l)/10a
定植後	一年生雑草	ゴーゴーサン細粒剤F	4～6kg/10a	全面土壤散布	1回 ツユクサ、キク科には効果が劣る。
		ゴーゴーサン乳剤	10a当り200～300ml (水量70～100l)	定植後 (雑草発生前) 但し、定植10日前まで	1回 同一成分のためどちらか1回のみ使用のこと。
生育期	一年生雑草	ザクサ液剤	10a当り300～500ml (水量100～150l)	雑草茎葉散布 (雑草生育期) 収穫前又は畦間処理	2回 作物に飛散しないように注意をする。
	一年生雑草	ロロックス	10a当り100～150g (水量70～150l)	畦間土壤散布 (雑草発生前) 但し、収穫30日前まで	1回 雜草茎葉散布又は全面散布で使用する場合、除草剤との混用及び7日以内の近接散布は薬害を生じることがあるでの注意をする。
	一年生広葉雑草		10a当り75～150g (水量100l)	雑草茎葉散布又は全面散布 (雑草発生前) 但し、収穫30日前まで	1回 全面散布で使用する場合、定植～收穫まで60日以下の作型や土耕栽培をしない作型では使用できない。

【令和4年12月7日現在の登録内容に基づいて記載しています。】

令和5年度 アスパラガス 病害虫防除基準

JA山形おきたま アスパラガス振興部会

時期	対象病害虫	薬剤名	使用方法	使用時期 (収穫まで)	効果	使用回数	注意事項
生育期	茎枯病 斑点病 褐斑病	ペルクート水和剤	※2 1000倍	散布	○ 7日前	5回	
		ダニール1000	1000倍		○ 前日	4回	
		アフェットフロアブル	2000倍		○ ○	4回	○ 茎枯病 病原菌は、被寄植物上に形成された柄子殻で越冬し、翌年気温が上昇すると共に孢子を形成し飛散・伝染する。特に収穫後の株養成茎に発生し、降雨が多いと多発する。被害茎葉は煮て焼却し、園場に残さず処分する。また、罹病茎を刈り取る時は低刈りとする。
		コサイド3000	2000倍		— ○	—	茎枯病は、予防防除の徹度が重要となっており、立莖開始から3~5日間隔で防除を行なう。
		アミスター20フロアブル	2000倍		●	4回	○ 斑点病 茎や葉に発生し、赤褐色で輪円形の小型病斑が形成され、やがて灰褐色に退色する。病斑は茎や葉を取り扱ふとその上部は枯死して落葉する。立莖時期から感染するが、発生が増大するのは8月中旬以降の降雨時である。
		ファンタジスタ顆粒水和剤	3000倍		●	3回	○ 褐斑病 痘状は斑点病と同じで判別が難しい。褐斑病は病斑がすむと病斑中心部に黒色の粒点が密生する。斑点病と同様に、罹病した落葉は次年度の伝染源となるため、なるべく園場から除去する。
		ロブラー水和剤	2000倍		○	5回	アミスター20フロアブルは落葉の恐れがあるため、高温期の散布を避ける。 ファンタジスタ顆粒水和剤とアミスター20フロアブルは、同一系統薬剤のため連用を避ける。
	茎枯病 斑点病	エボルドー	500倍	散布	— ●	—	
	茎枯病	ベンレート水和剤	2000倍	散布	前日	4回	
	斑点病	ラリー水和剤	4000倍	散布	●	2回	
		スコア顆粒水和剤	2000倍		●	2回	
	軟腐病	スターナ水和剤	2000倍	散布	前日	○ 2回	立莖本数を適正にし、通風を良くすることが重要。 雨天が続いた場合にトロロ症状が観察される場合に散布する。
生育期	ネキリムシ類	ガードペイトA	※1 3kg/10a 株元散布	前日	—	3回	
	ジュウシホシ クビナガハムシ	アディオン乳剤	※1 2000倍	散布	—	3回	アブラムシ類・カムシ類・ヨトウムシにも適用あり
		スタークル顆粒水溶剤	2000倍		前日	—	アザミウマ類・カムシ類・コナジラミ類にも適用あり
		コテツフロアブル (劇)	2000倍		—	2回	オオタバコガ・ヨトウムシ・ハスマントウ・ハダニ類にも適用あり
	ハダニ類	コロマイト乳剤	1000倍	散布	前日	2回	
	ネギアザミウマ	ダントツ水溶剤	2000倍	散布	—	3回	アブラムシ類・カムシ類・ジュウシホシクビナガハムシにも適用あり
		ウララDF	2000倍		—	3回	アブラムシ類にも適用あり
		コルト顆粒水和剤	4000倍		—	3回	カズミカムシ類・コナジラミ類にも適用あり
		ハチハチフロアブル (劇)	1000倍		—	2回	アブラムシ類・ジュウシホシクビナガハムシ・コナジラミ類にも適用あり
	アザミウマ類	ファインセーブフロアブル (劇)	2000倍	散布	—	2回	
		リーフガード顆粒水和剤	1500倍		—	2回	ナメクジ類にも適用あり
		アドマイヤー顆粒水和剤 (劇)	5000倍		—	2回	
		ディアナSC	2500倍		—	2回	オオタバコガ・ハスマントウ・ジュウシホシクビナガハムシ・コナジラミ類にも適用あり
	カムシ類	アーデント水和剤	1000倍	散布	前日	—	2回 アブラムシ類・オオタバコガ・ハダニ類にも適用あり
	ハスマントウ	アファーム乳剤	2000倍	散布	—	2回	オオタバコガ・ヨトウムシにも適用あり
		フェニックス顆粒水和剤	2000倍		前日	—	2回 オオタバコガ・ヨトウムシにも適用あり
		プレバサンフロアブル5	2000倍		—	3回	※フェニックス顆粒水和剤とプレバサンフロアブル5は同一系統薬剤のため連用を避ける。
	カタツムリ類 ナメクジ類	スラゴ	1g~5g/m ²	発生時	—	—	ナメクジ類及びカタツムリ類の発生あるいは加害を受けた場所又は株元に配置。
収穫終了後	茎枯病	リソレックス水和剤	500倍	散布	収穫後~茎葉刈取り期まで (収穫14日前)	● 3回	
		ペフラン液剤25	※2 1000倍	散布	収穫終了後 (冬期まで)	● 5回	夏期高温時の散布で落葉の恐れがあるので注意する。
	茎枯病・斑点病	エボルドー66D	50倍	散布	収穫終了後	○ —	

(○予防効果が期待できる。●予防・治療効果が期待できる。)

着剤名	着剤名	使 用 量	説 明
殺菌剤・殺虫剤	アピオン-E	散布液1000当り100ml	薬剤の被膜層を厚くし付着量を多くし固着性に優れる。雨前散布、予防効用で効果。
殺菌剤・殺虫剤	アプローチBI	散布液1000当り100ml	浸透性・浸透性の効果がある。治療型殺菌剤への加用効果大。
殺菌剤・殺虫剤	スカッシュ	散布液1000当り100ml	植物表面に広がり、均一に付着させるので、果実や葉の汚れが少なくなる。
殺菌剤・殺虫剤	ワイドコート	散布液1000当り33ml	薬剤をムラなく広げ落ちづらさる。均一付着により汚れ少ない。少量散布でも農薬本来の効果を引き出す。

除草剤

時期	適用雑草名	薬剤名	使 用 量	使 用 時 期 / 使 用 回 数	使 用 方 法 / 注意事項
準備	スギナ	ラウンドアップマックスロード	10a当り1500~2000ml (水量50~100l)	収穫前日まで (雑草生育期・飲間処理)	2回 雜草茎葉散布
萌芽前	一年生雜草 (シユクサ科、カヤツリ グサ科、キク科、アブ ラナ科を除く)	トレファノサイド乳剤	10a当り200~300ml (水量100l)	萌芽前又は収穫打切後 (雑草発生前)	1回 全面土壤散布
		クレマート乳剤	10a当り200~400ml (水量100~150l)	萌芽前 (雑草発生前)	1回 全面土壤散布
		ロロックス	10a当り150~200g (水量70~150l)	萌芽前 (雑草発生前~発生始期)	1回 全面土壤散布
		ゴーゴーサン細粒剤F	10a当り4~6kg	萌芽前 (雑草発生前)	1回 全面土壤散布
		センコル水和剤	10a当り100~150g (水量100l)	萌芽前~萌芽始期 または収穫打ち切り後 (雑草発生前~4、5葉期)	1回 雜草茎葉散布又は全面土壤散布 作物体が地上に見えたたら使用できません。
生育期	一年生イネ科雜草 (スズメガタビラを除く)	ナブ乳剤	10a当り150~200ml (水量100~150l)	雑草生育期 イネ科雜草3~5葉期 (但し収穫前日まで)	1回 雜草茎葉散布又は全面散布
	一年生雜草	ザクサ液剤	10a当り300~500ml (水量100~150l)	収穫前まで 雑草生育期(萌芽前又は飲間処理)	2回 雜草茎葉散布

※1 ガードペイトA、アディオン乳剤は同一成分（ペルメトリシン）を含むため、総使用回数は3回以内とする。

※2 ペルクート水和剤、ペフラン液剤25は同一成分（イミノクタジン）を含むため、総使用回数は5回以内とする。

※使用回数は薬剤の1作期内における最高散布回数である。

※病害虫の発生防止には耕種的・物理的防除を実施する。また、発生予察を実施し遅期防除に努める。

【令和4年12月21日現在の登録内容に基づいて記載しています。】

令和5年度 元だまめ 病害虫防除基準

時 期	薬 剤 名	使用方法	使用時期 (収穫まで)	使用回数	対象病害虫										注意事項	
					紫斑病	赤色斑病	赤かび病	赤かび病	斑点病	葉斑病	葉色病	葉枯れ病	葉燒病	葉萎焉症		
は播前	クルーザーFS30	塗沫処理	原液5ml/5kg播種子1kg 塗沫處理/充填種子 1kg	は播前 1回	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	クルーザーMAXXを使用した場合は、クルーザーFS30を使用しない。	
は播前	クルーザーMAXX	原液6ml/充填種子 1kg	は播前 1回 ●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	電子全晩怠速(シジトハト)	
は播後	カルホス農薬剤F	土壌表面散布土壌正味処理	6kg/10a	は播時 1回	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
は播時	ダイアジン粒剤5	作物前:全面土壤混和又は作物土壌混和處理して播く 土壌表面散布土壌正味処理	6kg/10a 作物中:作条處理して播く 土壌表面散布土壌正味処理	3日前 5回 ※1	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	※1 生育期の使用は4回以内 ※2 ネギミムシ類防除の場合は使用方法を『土壤表面散布』とする。	
アドマイヤー粒剤	接着剤混和処理	3kg/10a	播種土壌混和処理	は播時 1回	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ネギリースK	土壌表面粉状処理	3kg/10a	2.1日前 2回	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ロブール水和剤	1000倍	3日前 3回	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ゲッター水和剤	1500倍	7日前 3回 ●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
セイビアーフロアブル20	1000倍	前日 3回	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
アミスター20プロアブル	2000倍	前日 3回	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ランマンプロアブル	1000倍	3日前 3回	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
フェスティバルC水和剤	600倍	前日 3回	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
生育期	スミチオーン乳剤	100倍	2.1日前 4回	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	開花前及び開花一週間後にいずれかの薬剤防除する。 ただし:収穫前日数に注意する。
トレボン乳剤	100倍	14日前 2回	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
スタークリーン水溶剤	200倍	7日前 2回	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	※1 フタヌシノムシ防除の場合は3000倍で使用する。	
マジソン乳剤	2000倍	7日前 3回	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	※2 カメムシ類・マダニ類・アザミウマ類・ハダニ類に適用あり。	
アグロスリン乳剤	2000倍	7日前 3回	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
プレバンプロアブル5	4000倍	3日前 3回	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
プロフレアSC	2000倍	前日 3回	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
除草剤																
時 期	通用除草名	薬 剤 名	使用量 (乾草液量)	使用方法	使用時期	使用時期	使用方法	使用時期	使用方法	使用時期	使用方法	使用時期	使用方法	使用時期	使用方法	注意事項
耕耘前	一生生長草	ラウンドアップマックスロード	10a当り200~500ml(水量50~1000)	耕耘茎葉散布	耕耘前(又は出芽前まで)生长期	耕耘前(又は出芽前まで)生长期	耕耘茎葉散布	耕耘後(出芽前)	3回							
は種後	一生生長草	トレファーナサイド乳剤	10a当り200~300ml(水量1000)	全面土壤散布	耕耘後(出芽前)	耕耘後(出芽前)	全面土壤散布	耕耘後(出芽前)	1回							
は播後	一生生長草	クリアターン細粒剤F	4~5kg/10 a	全面土壤散布	耕耘後(出芽前)	耕耘後(出芽前)	全面土壤散布	耕耘後(出芽前)	イネ科・広葉雜草に。							
一年生生長草	クリアターン乳剤	10a当り500~800ml(水量70~1000)	全面土壤散布	耕耘後(出芽前)	耕耘後(出芽前)	耕耘後(出芽前)	耕耘後(出芽前)	耕耘後(出芽前)	耕耘後(出芽前)	耕耘後(出芽前)	耕耘後(出芽前)	耕耘後(出芽前)	耕耘後(出芽前)	耕耘後(出芽前)	1回	
一年生生長草	プロールプラス乳剤	10a当り400~600ml(水量70~150)	全面土壤散布	耕耘後(出芽前)	耕耘後(出芽前)	耕耘後(出芽前)	耕耘後(出芽前)	耕耘後(出芽前)	耕耘後(出芽前)	耕耘後(出芽前)	耕耘後(出芽前)	耕耘後(出芽前)	耕耘後(出芽前)	耕耘後(出芽前)	イネ科・広葉雜草に。	
一年生生長草	ザクサ液剤	10a当り300~500ml(水量100~150)	全面土壤散布	耕耘後(出芽前)	耕耘後(出芽前)	耕耘後(出芽前)	耕耘後(出芽前)	耕耘後(出芽前)	耕耘後(出芽前)	耕耘後(出芽前)	耕耘後(出芽前)	耕耘後(出芽前)	耕耘後(出芽前)	耕耘後(出芽前)	3回	
生育期	一生生長草 (スズメガカビラを除く)	ナフ乳剤	10a当り150~200ml(水量100~150)	全面土壤散布	耕耘後(出芽前)	耕耘後(出芽前)	耕耘後(出芽前)	耕耘後(出芽前)	耕耘後(出芽前)	耕耘後(出芽前)	耕耘後(出芽前)	耕耘後(出芽前)	耕耘後(出芽前)	耕耘後(出芽前)	イネ科	
	ボルトプロアブル	10a当り200~300ml(水量1000)	全面土壤散布	耕耘後(出芽前)	耕耘後(出芽前)	耕耘後(出芽前)	耕耘後(出芽前)	耕耘後(出芽前)	耕耘後(出芽前)	耕耘後(出芽前)	耕耘後(出芽前)	耕耘後(出芽前)	耕耘後(出芽前)	耕耘後(出芽前)	1回	

※「えだまめ」と「大豆」は農業整備が異なるので、それぞれの登録内容をしっかりと確認して使用しましょう。

※除草剤の効果防止には耕翻散布を実施します。また発生予測して適期防除に努めましょう。

【令和5年12月7日現在の登録内容に基づいて記載しています。】

令和5年度 食用菊 病害虫防除基準

JJA山形おきたま 食用菊振興部会

時 期	対象病害虫	薬 剤 名	使用方法	使用時期 (収穫まで)	効 果	使 用 回 数	注意事項
定植時	ネキリムシ類	カルホス微粒剤F (●)	6kg/10a 土壤表面散布 土壤混和処理	定植時	-	1回	
	アブラムシ類	スタークル粒剤	1g/株 植穴土壤混和 (10a当り30kgまで)	定植時	-	1回	マメハモグリバエにも適用あり 2g/株(但し10a当り30kgまで)
褐斑病	ダコニール1000	1000倍	散布	3日前	○	4回	雨よけを設置し、通風を良くし栽培距離は広くする。 窒素過多で発生を助長するので適切な施肥を行う。
	トップシンM水和剤	1500倍		2日前	●	2回	
白さび病	ラリー乳剤	3000倍	散布	14日前	●	2回	褐斑病・黒斑病にも適用あり
	ストロビーフロアブル	3000倍		3日前	○	2回	
うどんこ病	イオウフロアブル	500倍	散布	-	○	-	高温時の散布は葉害の恐れがあるため注意する。
灰色かび病	アフェットフロアブル	2000倍	散布	7日前	○	2回	白さび病・うどんこ病にも適用あり
	セイビアーフロアブル20	1000倍		3日前	○	2回	
生育期	アーデント水和剤	1000倍	散布	14日前	-	1回	ハスモンヨウ・ハダニ類・ミカンキロアザミウマ・ヨトウムシにも適用あり 発生初期に使用する。
	モスピラン顆粒水溶剤 (●)	2000倍		-	-	2回	アザミウマ類にも適用あり
	スタークル顆粒水溶剤	3000倍		-	-	2回	
	ウララDF	4000倍		7日前	-	2回	
	マラソン乳剤	2000倍		3日前	-	2回	
	エコピタ液剤	100倍		前日	-	-	●単用散布する
	トランسفォームフロアブル	2000倍		3日前	-	2回	
ミカンキロアザミウマ	ペストガード粒剤	2g/株	株元散布	前日	-	2回	アブラムシ類・マメハモグリバエにも適用あり
	カスクード乳剤	2000倍		7日前	-	2回	マメハモグリバエにも適用あり
	コテツフロアブル (●)	2000倍		3日前	-	2回	オオタバコガ・ハダニ類・ヨトウムシ類にも適用あり
	スピノエース顆粒水和剤	10000倍		-	-	2回	
アザミウマ類	アファーム乳剤	2000倍	散布	14日前	-	1回	
	バイスロイトEW (●)	3000倍		7日前	-	2回	
	アグロスリン乳剤 (●)	1500倍		3日前	-	1回	アブラムシ類・オオタバコガ・ハスモンヨウ・ヨトウムシにも適用あり
ハモグリバエ類	トリガード液剤	1000倍	散布	7日前	-	2回	
ハダニ類	スタークルフロアブル	2000倍	散布	7日前	-	1回	
	ダニサラハフロアブル	1000倍		3日前	-	2回	
	コロマイト水和剤	2000倍		前日	-	1回	
	アカリタッチ乳剤	1500倍		-	-	1回	高温時の散布は葉害の恐れがあるため注意する。
オオタバコガ	デルフィン顆粒水和剤	1000倍	散布	前日	-	-	発生初期に使用する。
・ハウス開口部には防虫ネットを設置し、ハウス内と周辺の除草を行い、スポット的に害虫が発生した場合は早期に寄生葉を除去する。							
・紫外線カットフィルムを利用する。(ただし紫色品種には使用しない)							

土壌消毒剤

(○予防効果が期待できる、●予防・治療効果が期待できる。)

薬 剤 名	対象病害虫	使用量 (散布量)	使用時期／使用回数	使 用 方法
ガスターード微粒剤 (●)	センチュウ類 (ハバレシチュウを除く) 萎凋病 半身萎凋病 青枯病	30kg/10a	定植21日前まで	1回 土壌を耕起整地した後、所定量の薬剤を均一に散布して深さ15~25cmに土壌と十分混和する。混和後ビニール等で被覆処理する。7~14日後被覆を除去して少なくとも2回以上の耕起によるガス抜きを行う。

除草剤

薬剤名	適用雑草名	使 用 量	使 用 方法／使 用 回 数	使 用 時 期
ゴーゴーサン乳剤	一年生雑草	10a当り200~400ml (水量70~150L)	全面土壌散布	1回 定植前(雑草発生前)
バスタ液剤	一年生雑草	10a当り300~500ml (水量100~150L)	雑草茎葉散布	2回 定植前(雑草生育期)、収穫14日前まで(畦間処理:雑草生育期)

※使用回数は親株から挿し穂を採取した時から収穫終了までの回数です。

※病害虫の発生防止には耕種的・物理的防除を実施しましょう。また発生予察を実施して、適期防除に努めましょう。

【令和4年12月21日現在の登録内容に基づいて記載しています。】

令和5年度 たらのき 病害虫防除基準

JJA山形おきたま 特産野菜振興部会促成山菜部会

時 期	対象病害虫	薬 剤 名	使用方法	使用時期 (収穫まで)	効 果	使 用 回 数	注意事項
立枯疫病	ユニフォーム粒剤	20kg/10a 土壤表面散布	取種終了後~落葉前 (収穫60日前まで)	○	2回		苗の場合は植え付け後~落葉前 但し、収穫60日前まで。 排水不良地に発生するため、圃場の排水をよくする。
	ストロビーフロアブル	2000倍				1回	
そうか病	トップシンM水和剤	1500倍	散布	75日前	○	2回	
	センノカミキリ幼虫 ヒメシロコブソウムシ	スマチオン乳剤		伏せ込み前 (収穫60日前まで)	●	2回	
センノカミキリ	モスピラン顆粒水溶剤 (●)	2000倍	散布	45日前	-	3回	
	ハダニ類	コテツフロアブル		90日前	-	2回	
伏込時	萌芽促進	ジベレリン液剤	50ppm 駒木散布	伏込時	- 1回	使用液量(100~200ml/m ²) ※「ジベレリン錠剤」は登録が無いため、使用しないこと。	
		ジベレリン粉末					

除草剤

(○予防効果が期待できる、●予防・治療効果が期待できる。)

薬 剤 名	適用雑草名	使 用 量	使 用 方法／使 用 回 数	使 用 時 期
ロロックス	一年生雑草	10a当り100g (水量70~150L)	畦間土壌散布	2回 中耕・培土後(雑草発生前)
バスタ液剤	一年生雑草	10a当り300~500ml (水量100~150L)	雑草茎葉散布	3回 収穫45日前まで(雑草生育期 植付前又は畦間処理)

※使用回数は薬剤の1作期における最高散布回数です。

※『収穫』とは『駒木を収穫すること』を指す。

※病害虫の発生防止には耕種的・物理的防除を実施しましょう。また発生予察を実施して適期防除に努めましょう。

【令和4年12月21日現在の登録内容に基づいて記載しています。】

令和5年度 かぼちゃ 病害虫防除基準

JJA山形おきたま 特産野菜振興部会

時期	対象病害虫	薬剤名	使用方法	使用時期 (収穫まで)	効果	使用回数	注意事項
作付前	ネキリムシ類 カラ	ダイアジノン粒剤5	6kg／10a 全面土壤混和又は 作床土壤混和	は種時又は 定植時	-	2回	コガネムシ類(幼虫)にも適用あり(収穫21日前まで)
定植時	アブラムシ類	モスピラン粒剤	1g／株 植穴土壤混和	定植時	-	1回	
生育期	疫病・べと病	ジマンダイセン水和剤	600倍 散布	21日前	○	2回	炭そ病・つる枯病にも適用あり
		アリエッティ水和剤	400倍	前日	●	3回	疫病は、排水不良地で発生が多くなるため排水対策を徹底する。
	べと病	ダコニール1000	1000倍 散布	7日前	○	3回	うどんこ病にも適用あり
	アブラムシ類	スミチオン乳剤	1000倍 散布	14日前	-	3回	アザミウマ類にも適用あり
		モスピラン顆粒水溶剤	2000倍 散布	前日	-	2回	
	ハスモンヨトウ	アグロスリン乳剤	2000倍 散布	前日	-	5回	アザミウマ類・アブラムシ類にも適用あり
	うどんこ病	ベルクート水和剤	※1 1000倍 散布	7日前	○	4回	
		ペフドー水和剤	※1 500倍 散布	○	4回	4回	疫病にも適用あり
		パンチヨTF顆粒水和剤	2000倍 散布	前日	●	2回	
		ストロビーフロアブル	3000倍 散布	前日	●	3回	べと病にも適用あり

(○予防効果が期待できる。 ●予防・治療効果が期待できる。)

除草剤

時期	適用雑草名	薬剤名	使用量(散布液量)	使用方法	使用回数	使用時期
耕起前	一年生雑草	ラウンドアップマックスロード	10a当り200~500ml(水量50~100l)	雑草茎葉散布	1回	耕起前まで(雑草生育期)
マルチ前	一年生雑草	クレマート乳剤	10a当り200~400ml(水量100~150l)	全面土壤散布	1回	定植・マルチ前(雑草発生前)
生育期	一年生雑草	バスタ液剤	10a当り300~500ml(水量100~150l)	雑草茎葉散布	2回	収穫30日前まで (雑草生育期定植前又は畦間処理)

※1 ベルクート水和剤、ペフドー水和剤は同一成分(イミノクタジン)を含むため、総使用回数は4回以内とする。

※使用回数は薬剤の1作期における最高散布回数である。

※病害虫の発生防止には耕種的・物理的防除を実施する。また、発生予察を実施し遅期防除に努める。

【令和4年12月7日現在の登録内容に基づいて記載しています。】

令和5年度 なす 病害虫防除基準

JJA山形おきたま 特産野菜振興部会

時期	対象病害虫	薬剤名	使用方法	使用時期 (収穫まで)	効果	使用回数	注意事項
定植前	半身萎凋病	ガスタークレジント	20~30kg/10a 土壤混和	定植21日前まで	○	1回	土壤を耕起整地した後、所定量の薬剤を均一に散布して深さ15~25cmに土壤と十分混和する。混和後ピニール等で被覆処理する。被覆しない場合は顆粒散布して入門の蒸散を防ぐ。被覆後7~14日に被覆を除去し、少なくとも2回以上の耕起による耕起を行い、散布後21日以上経てから作付する。
定植時	ネキリムシ類	カルホス粉剤	6kg/10a 土壤殺虫粉剤土壤混和	植付時	-	2回	
	アブラムシ類	ダントツ粒剤	1g/株 植穴処理土壤混和	定植時	-	1回	茎葉、根に薬剤が直接ふれないように注意する。
生育期	半身萎凋病	ベンレート水和剤	500倍 土 かん注	定植後~収穫14日前まで	○	3回	希釈液を株当たり200~300ml株元かん注する。
	褐紋病	ホライズンドライフルアブル	2500倍 散布	前日	●		
	褐色腐敗病	ランマンフルアブル	2000倍 散布	前日	○	3回	高畦栽培を行い、排水を図る。 湿度の高い時に発生しやすい。近年、発生が見受けられるので注意する。
	灰色かび病	ダコニール1000	1000倍 散布	前日	○	4回	うどんこ病・黒枯病・すすかび病にも適用あり
	ベルクートフルアブル	2000倍 散布	前日	○	3回	うどんこ病・黒枯病・すすかび病にも適用あり	
	ロブラール500アクア	1000倍 散布	前日	○	4回		
	うどんこ病	パンチヨTF顆粒水和剤	2000倍 散布	前日	●	2回	
	アミスター20フルアブル	2000倍 散布	前日	●	4回	すすかび病にも適用あり	
	ハダニ類	マイトコネフルアブル	1000倍 散布	前日	-	1回	高温乾燥の時に発生が多くなるので注意する。
	コテツフルアブル	2000倍 散布	前日	-	4回	オオタバコガ・チャノホコリダニ・テントウムシダマシ類・ハスモンヨトウ・ミカンキイロアザミウマ・ヨドウムシにも適用あり	
	チャノホコリダニ	カネマイフルアブル	1000倍 散布	前日	-	1回	ハダニ類にも適用あり
	コロマイフルアブル	1500倍 散布	前日	-	2回	※コロマイフルアブル:水なしへは使用しない。(葉害の恐れあり)	
	アファーム乳剤	2000倍 散布	前日	-	2回	ハダニ類・ハモクリバエ類・コナジラミ類にも適用あり	
	アブラムシ類	スミチオン乳剤	1000倍 散布	前日	-	5回	アザミウマ類・オオタバコガ・ハスモンヨトウ・ハダニ類・ハモクリバエ類にも適用あり
	ダントツ水溶剤	2000倍 散布	前日	-	3回	コナジラミ類・ハモクリバエ類・カメムシ類にも適用あり	
	アグロスリン乳剤	2000倍 散布	前日	-	5回	オンシソコナジラミにも適用あり	
	コルト顆粒水和剤	4000倍 散布	前日	-	3回	カスミカムシ類・コナジラミ類にも適用あり	
オオタバコガ	トルネードエースDF	2000倍 散布	前日	-	2回	ハスモンヨトウにも適用あり	
コナジラミ類	フェニックス顆粒水和剤	2000倍 散布	前日	-	3回	ハスモンヨトウにも適用あり	
	チエス顆粒水和剤	5000倍 散布	前日	-	3回	アブラムシ類にも適用あり	

(○予防効果が期待できる。 ●予防・治療効果が期待できる。)

辰着剤

辰着剤名	適用農薬名	使用量	説明
アプローチBI	殺菌剤・殺虫剤	散布液1000倍当り100ml	湿潤性・浸透性の効果がある。
スカッシュ	殺菌剤・殺虫剤	散布液1000倍当り100ml	植物表面に広がり、均一に付着させるので、果実や葉の汚れが少なくなる。

除草剤

時期	適用雑草名	薬剤名	使用量(散布液量)	使用方法	使用回数	使用時期
耕起前	一年生雑草	ラウンドアップマックスロード	10a当り200~500ml(水量50~100l)	雑草茎葉散布	2回	耕起前まで(雑草生育期)
定植前	一年生雑草	クレマート乳剤	10a当り200~400ml(水量100~150l)	全面土壤散布	1回	定植前又は定植・マルチ前(雑草発生前)
生育期	一年生雑草	ザクサ液剤	10a当り300~500ml(水量100~150l)	雑草茎葉散布	3回	収穫前まで(雑草生育期定植前又は畦間処理)

※使用回数は薬剤の1作期における最高散布回数である。

※病害虫の発生防止には耕種的・物理的防除を実施する。また、発生予察を実施し遅期防除に努める。

【令和4年12月7日現在の登録内容に基づいて記載しています。】

令和5年度 キャベツ 病害虫防除基準

JA山形おきたま 特産野菜振興部会キャベツ部会

時期	対象病害虫	薬剤名	使用方法	使用時期 (収穫迄)	効果	使用回数	注意事項
育苗期	べと病	ダコニール1000	1000倍 敷布	14日前 ○	○	2回	
	アオムシ・コナガ アブラムシ類	アグロスリン水和剤 (劇)	1000倍 敷布	7日前 ○	○	5回	アザミウマ類・タマナギンウワバ・ヨトウムシにも適用あり
	アオムシ アブラムシ類・コナガ ネギアザミウマ ハイマダラノメイガ ヨトウムシ	ジュリボフロアブル	200倍 灌注	育苗期後半 ～定植当日 ○	○	1回	セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊 (約30×60cm、使用土壤 約1.5～4L)当たり0.5L ジュリボフロアブル・フェニックス顆粒水和剤は、同一成分とみなし、抵抗性害虫出現防止のため適用を避ける。
定植前	根こぶ病	オラクル顆粒水和剤	500倍 灌注	定植前 ○	○	1回	セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊 (30×60cm、使用土壤約3～4L)当り500ml
		オラクル粉剤	30kg/10a 全面土壤混和		○	2回	いずれか 1剤を選択し 使用する。
		ネビジン粉剤	30kg/10a 全面土壤混和		○	2回	
生育期	べと病	ジマンダイセン水和剤	※1 600倍	30日前 ○	○	3回	べと病は降雨が比較的多く、気温が低くなる秋あるいは春に発生が多い。
		ダコニール1000	1000倍 敷布		○	2回	育苗期に使用した場合は生育期には1回のみの使用とする。
		リドミルゴールドMZ	※1 1000倍		●	3回	
	べと病・黒腐病 軟腐病	ヨネポン水和剤	500倍 敷布	7日前 ○	○	5回	黒腐病は夏から秋に雨が多いときに発生やすい病気。
	黒腐病・軟腐病 黒斑細菌病	カスミンボルドー	※2 1000倍 敷布	7日前 ●	●	4回	結球期以降は葉に薬害を生じることがあるので使用しない。
		カセット水和剤	※2 1000倍 敷布		●	3回	
	株腐病・黒腐病 軟腐病	バリダシン液剤5	800倍 敷布	7日前 ●	●	5回	
	株腐病	モンカットフロアブル40	2000倍 敷布	7日前 ●	●	3回	株腐病は夏の高温多湿時に収穫する作型で多く発生。 結球開始期から予防散布をする。
		アミスター20フロアブル	2000倍 敷布		●	4回	菌核病にも適用あり
	アオムシ・コナガ アブラムシ類	ダントツ水溶剤	2000倍 敷布	3日前 ○	○	2回	
	コナガ アオムシ ヨトウムシ	プレオフロアブル	1000倍 敷布	7日前 ○	○	2回	ウワバ類・オオタバコガ・ハイマダラノメイガ・ ハスモンヨトウにも適用あり
		トルネードエースDF	2000倍 敷布		○	2回	ウワバ類・ハイマダラノメイガ・ハスモンヨトウ にも適用あり
		トレボン乳剤	1000倍 敷布	3日前 ○	○	3回	アブラムシ類にも適用あり
		ディアナSC	2500倍 敷布	○	○	2回	アザミウマ類・ウワバ類・オオタバコガ・ハイマ ダラノメイガ・ハスモンヨトウにも適用あり
		プロフレアSC	2000倍 敷布	○	○	3回	ハスモンヨトウ、ウワバ類、オオタバコガ、ハイ マダラノメイガにも適用あり
		フェニックス顆粒水和剤	2000倍 敷布	○	○	3回	ウワバ類・オオタバコガ・ハイマダラノメイガ・ ハスモンヨトウにも適用あり

(○予防効果が期待できる。 ●予防・治療効果が期待できる。)

※1 ジマンダイセン水和剤、リドミルゴールドMZは同一成分（マンゼブ）を含むため、総使用回数は3回以内とする。

※2 カスミンボルドー、カセット水和剤は同一成分（カスガマイシン）を含むため、総使用回数は4回以内とする。

※使用回数は薬剤の1作期における最高散布回数である。

※病害虫の発生防止には耕種的・物理的防除を実施する。また発生予察を実施し、適期防除に努める。

除草剤

時期	対象雑草名	薬剤名	使用量	使用方法	使用時期／使用回数	注意事項
定植前	一年生雑草	クレマート乳剤	10a当り200～400ml (水量100～150ℓ)	全面土壤散布	定植前 (雑草発生前) 1回	キク科・ツユクサには効果が劣る。 抑制期間30日位
定植後	一年生雑草	ラツソ一乳剤	10a当り150～200ml (水量100ℓ)	全面土壤散布	定植8日後まで 1回	アカザ科・タデ科には効果が劣る。 抑制期間20日位 ※夕方以降の散布は避ける。
	一年生雑草	ザクサ液剤	10a当り300～500ml (水量100～150ℓ)	雑草茎葉散布	収穫4.5日前まで (雑草生育期 定植前 又は避難処理) 2回	
	一年生イネ科雑草	ナブ乳剤	10a当り150～200ml (水量100～150ℓ)	雑草茎葉散布 又は全面散布	雑草生育期 (イネ科雑草3～5葉期 (収穫14日前まで) 1回	スズメノカタビラを除く。 広葉雑草およびカヤツリグサ科には効果 が期待できない。

【令和4年12月21日現在の登録内容に基づいて記載しています。】

令和5年度 野菜類に使える主な登録薬剤

JJA山形おきたま 野菜振興会

用途	薬剤名	対象病害虫等・使用目的	散布時 希釈倍数・使用量	使用時期	使用回数	注意事項	
殺生物剤	インプレッショングクリア	うどんこ病・灰色かび病	1000~2000倍	発病前~ 発病初期	一		
	ボトキラー水和剤	うどんこ病・灰色かび病	1000倍		一		
	タフパール	うどんこ病	2000~4000倍		一	トマトミニトマトは左記に加え灰色かび病・葉かび病でも適用あり	
	マスタピース水和剤	軟腐病	1000~2000倍	収穫前日 まで	一	かぼちゃ・ズッキーニは軟腐細菌病で適用あり しょうがは軟腐病で適用あり	
	エコショット	灰色かび病	1000~2000倍		一	キャベツは左記に加え黒斑細菌病・黒腐病でも適用あり	
	コサイド3000	褐斑細菌病・黒腐病 軟腐病・斑点細菌病	2000倍	一	一		
銅剤	ドイツボルドーA	べと病・軟腐病	500~1000倍		一		
	グプロシールド	軟腐病・べと病・斑点細菌病・ナメクジ類	1000倍		一	ナメクジ類に対する使用時期は、発生前~発生初期	
	Zボルドー	べと病・黒腐病・軟腐病 褐斑細菌病・斑点細菌病・黒斑細菌病	500倍		一	キャベツは褐斑細菌病で適用なし	
	イオウフルオアル	うどんこ病	500~1000倍	発病前~ 発病初期	一	すいか・かぼちゃは500倍 いちごは親株床初期500~1000倍、発病前~初期2000倍 トマト、ミニトマトは左記に加えトマトサビダニに対しても400倍で適用あり(発生初期) ねぎ、あさつき、わけぎは左記に加えさび病に対しても500倍で適用あり	
炭酸水素塩	硫黄粉剤50	うどんこ病	3kg/10a		一	ハダニ類にも適用あり	
	カリグリーン	うどんこ病・さび病・灰色かび病	800倍	収穫前日 まで	一		
	ジーフайн水和剤	うどんこ病・軟腐病・白さび病	1000倍		一	なすはうどんこ病に適用あり	
	ハーモメイト水溶剤	灰色かび病・さび病	800倍		一		
殺虫剤	生菌 クルスター 死菌	エスマルクDF	オオタバコガ・ヨトウムシ	1000倍	発生初期 但し 収穫前日 まで	一	
		デルフィン顆粒水和剤	アオムシ・コナガ アオムシ・ハスモンヨトウ・シロイチモジョトウ オオタバコガ・ウリノメイガ・コナガ	1000倍		一	
		トアロー水和剤CT	アオムシ・コナガ	1000~2000倍		一	
		トアローフロアブルCT	ヨトウムシ	500~1000倍		一	
	死菌 BT アザワゲ 生菌	トアローフロアブルCT	アオムシ・コナガ	1000~2000倍		一	
		エコマスターBT	オオタバコガ	500~1000倍		一	
		ゼンターリ顆粒水和剤	アオムシ・コナガ・ヨトウムシ	1000倍		一	
		フローパックDF	アオムシ・コナガ	1000~2000倍		一	
	物理的 阻害	エコマスターBT	オオタバコガ・ハスモンヨトウ・ヨトウムシ	1000倍		一	
		ゼンターリ顆粒水和剤	アオムシ・コナガ・ヨトウムシ	1000倍		一	
		フローパックDF	オオタバコガ・ハスモンヨトウ	1000倍		一	
		サブリナフロアブル	シロイチモジョトウ	500~750倍		一	
	オレート液剤	アブラムシ類・コナジラミ類	100倍	発生初期~ 収穫前日まで	一		
	粘着くん液剤	アブラムシ類・コナジラミ類・ハダニ類	100倍		一	うどんこ病にも適用あり	
殺虫殺菌剤	サンクリスタル乳剤	うどんこ病	300倍	収穫前日 まで	一	トマトミニトマトは左記に加えトマトサビダニにも適用あり	
		アブラムシ類・コナジラミ類・ハダニ類			一	なすは左記に加えチャノホコリダニにも適用あり	
	アカリタッチ乳剤	ハダニ類	1000~3000倍		一		
		うどんこ病	2000倍		一		
	エコピタ液剤	アブラムシ類・コナジラミ類・ハダニ類	100倍		一		
		うどんこ病			一		
		アブラムシ類・コナジラミ類・ハダニ類	1000倍		一	殺菌剤・殺虫剤の展着剤として使用する場合: 使用量10mL/散布液10L	
その他	クレフノン	銅水和剤による薬害の軽減	100~200倍	一	一	銅水和剤に混用して散布	

*薬剤によって薬害発生の恐れがありますので、散布試験をして事前に薬害の有無を確認して薬剤散布をお願いします。
※どうもろこしには使用できません。

【令和4年12月7日現在の登録内容に基づいて記載しています。】

きゅうり農業混用事例(殺虫・殺ダニ剤) その1

殺虫・殺ダニ剤		殺菌剤									
		セの1	セの2	セの3	セの4	セの5	セの6	セの7	セの8	セの9	セの10
アフ	エ ン (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
アフ	タ ー 2 (FL)	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●
アミ	ス ター オ ブ テイ (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
※1	ア リ エ ッ テ ィ (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
※1	ア リ エ ッ テ ィ C (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
イ	ン プ ラ ジ ョ ン ク リ ア (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
エ	コ ジ ョ ッ ツ (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
エ	ト フ イ ン (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
園	芸 ボ ル ド ー (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
オ	ー ソ ン サ イ (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
オ	キ シ ラ ン (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
カ	ー ゼ ー ト P Z (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
カ	ス ミ ニ ポ ル ド ー (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
カ	リ グ リ ー ト (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
カ	ン セ ッ ツ (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
カ	ン バ ネ ラ (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
キ	ノ ン ド ー (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
キ	ノ ン ド ー 4 0 (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
キ	ヤ ブ レ ー ト (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
キ	ン セ ッ ツ (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ク	リ ー ン カ ッ ピ (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ゲ	ツ タ ー (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ケ	ン ジ ャ (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
コ	サイド 3 0 0 0 (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
サ	ブ ロ ー ル (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
サ	ン プ ロ ロ M (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
サ	ン ボ ル ド ー (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
サ	ン ヨ ー ル (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
※2	ジ ー フ ア イ ン (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ジ	マ ン ダ イ セ ン (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ジ	ャ ス ト フ ィ ト (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ジ	ャ ス ト ミ ー ト (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
シ	ウ チ ノ ス (FL)	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ス	ト ロ ピ (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ス	ミ ブ レ ン ド (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ス	ミ レ ン ク (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
セ	イ ピ ー (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ジ	ーブ ハク エニケード (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ダ	イ ア メ リ ト (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ダ	イ ナ (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ダ	イ バ ワ ー (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ダ	イ マ ジ ン (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ダ	コ ニ ル 1 0 0 0 (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ダ	コ ニ ル エ ー ス (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
テ	ー ク (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ド	イ ツ ボ ル ド ー (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ド	ー シ ジ ケ (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ド	キ リ ン (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ド	ツ ブ フ ジ ン M (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ド	ツ ブ フ ジ ン M ゾ ル (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

注1:アリエッティ(水)、向C(水)とプロアフルを最初に所定量に希釈してから、アリエッティ(水)、向C(水)を最後に加える。

注2:アリエッティ(水)、向C(水)とプロアフルを最初に所定量に希釈してから、ウララ(DF)を最後に加える。

*2:シーファイン(水)とウララ(DF)を混用する場合、必ずシーファイン(水)を最初に所定量に希釈してから、ウララ(DF)を最後に加える。

きゅううり農業混用事例(殺虫・殺ダニ剤一殺菌剤) その2

(注)実用に当たっては「通用規範についての注意事項」と各溶液のラベルをよろしく使用する場合、必ずプロアブル剤を最初に所定濃度に希釈してから、アリエッティ(次)、同C(次)を直後に加える。

*****2：ジーファイン(水)とウララ(DF)を混用する場合、必ずジーファイン(水)を最初に所定濃度にて希釈してから、ウララ(DF)を漸進に加える。

きゅうり農業混用事例(殺虫・殺ダニ剤・殺ダニ剤)

(注) 要用に当たつては「通用事例集についての注意事項」と各事例のラベルをよく読みで使用する。

トマト農薬混用事例(殺虫・殺ダニ剤一殺菌剤) その1

殺虫・殺ダニ剤		殺菌剤									
種類		品目									
殺虫・殺ダニ剤	殺菌剤	アミロイド									
アミスター 20 (FL)	アミロイド (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
アミスターオブティ (FL)	アミロイド (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
オウ (FL)	アミロイド (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
インプレッションクリア (FL)	アミロイド (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
エコショット (FL)	アミロイド (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
エトフイブ (FL)	アミロイド (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
オーンサイド (FL)	アミロイド (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
オキシラン (FL)	アミロイド (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
オコンディスクル (FL)	アミロイド (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
カーゼートPZ (FL)	アミロイド (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
カスミンボルドー (FL)	アミロイド (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
カツバーシン (FL)	アミロイド (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
カリグリーン (FL)	アミロイド (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
カントタス (FL)	アミロイド (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
カンバネラ (FL)	アミロイド (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
キャブレート (FL)	アミロイド (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
クラムラス (FL)	アミロイド (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
クリーンカップ (FL)	アミロイド (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ゲツタ一 (FL)	アミロイド (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ケンジヤ (FL)	アミロイド (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
コサイド3000 (DF)	アミロイド (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
サプロール (FL)	アミロイド (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ザンブロDM (FL)	アミロイド (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
サンボルドー (FL)	アミロイド (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
サンヨール (FL)	アミロイド (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ジーファイン (FL)	アミロイド (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
シダナム (FL)	アミロイド (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ジマンダイセン (FL)	アミロイド (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ジマンダイセン (FL)	アミロイド (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ジャストミート (FL)	アミロイド (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ショウチノスケ (FL)	アミロイド (FL)	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●
スクレ (FL)	アミロイド (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
スコア (FL)	アミロイド (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ミブレン (FL)	アミロイド (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ミレック (FL)	アミロイド (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
セイビア (FL)	アミロイド (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ソーベック エニケード (FL)	アミロイド (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ソーベック エニベル (FL)	アミロイド (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ダイメリット (FL)	アミロイド (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ダイモ (FL)	アミロイド (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ダイジン (FL)	アミロイド (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ダコニール100 (FL)	アミロイド (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ダコニールエース (FL)	アミロイド (FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

※1: 当記事では、混用の際の注意事項について記載する。※2: ジニアーファイン (FL) とウララ (DF) を混用する場合、必ずジニアーファイン (FL) を最初に噴射してから、ウララ (DF) を最後に加える。

メロン農業混用事例(殺菌剤一殺菌剤)

殺虫・殺ダニ剤		殺虫・殺ダニ剤									
殺虫・殺ダニ剤		殺虫・殺ダニ剤									
アーデント(水)	-	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
アクタラ(SS)	-	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
アグロスリン(水)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
アンブロン(乳)	●	-	●	○	●	●	●	●	●	●	●
アドマイヤー(水)	●	-	●	●	●	●	●	●	●	●	●
アドマイヤー(FL)	●	-	●	●	●	●	●	●	●	●	●
アドマイヤー(乳)	-	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
アドマイヤー(粉)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
アドマイヤー(粉)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ウララ(DF)	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●
エスマルク(DF)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
カスケード(乳)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
フレシア(乳)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
コルド(DF)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
コロマイト(水)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
サイハイロン(乳)	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●
サンクリスタル(乳)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
スターイト(FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
スピノエース(FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
スプラサイド(水)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ミチオン(乳)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ゼンターリ(FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ダイアジノン(乳)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ダニニセラバ(FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ダニトロン(FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ダブルフェース(FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
チエス(FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
デミリオン(水)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
トクローカT(水)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
トリガード(FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
トレボン(乳)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
トレボン(FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ニシソラン(水)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
バロック(FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
プレバン(FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
マイトコーン(FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
マトリック(FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
マブリック(水)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
モベント(FL)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

(注)適用に当たっては「適用基準薬についての注意事項」を各薬剤のラベルをよく読みて使用する。

*1・アリエッティ(水)は「適用基準薬についての注意事項」と共に他のラベルをよく読みて使用する。必ずプロアブル剤を最初に投与してから、アリエッティ(水)を最後に加える。

ねぎ農業混用事例(殺虫・殺ダニ剤一殺菌剤)

殺虫・殺ダニ剤		殺菌剤	
ア	フェント(F)	アグロスリシン(F)	
ア	ミスターオーフェイ(F)	アクリメソリクタ(F)	
※1	アリエッティ(木)	セルキンラグ(F)	
イ	キラシラジン(木)	オロディスクルラSC(木)	
オ	オノリーワン(木)	オヌミンギョルドー(木)	
カ	カセナ(木)	カナブロード(F)	
カ	リグリーン(木)	カーブネ(木)	
カ	プロシールド(木)	コサブロード(木)	
サ	サブロード(木)	サンブロードM(木)	
サ	フリーファイン(木)	シングナム(木)	
ジ	シマンダイセン(木)	ジマンダイセン(木)	
ス	ストロビーナ(木)	スマルト(F)	
ス	ミレックス(木)	スモーク(木)	
セ	サイアミット(木)	ダコニール1000(F)	
タ	タブジンM(木)	タブジンM(木)	
ナ	レーモーティド(木)	テクニカルD(木)	
ハ	ハイオガーバー(木)	ハイダジン5(木)	
バ	レード2(木)	ファンジスター(木)	
ロ	ボーダ(木)	フェヌタ(木)	
ベ	ジセイバー(木)	エスティバル(木)	
ベ	シセイター(木)	エスティバルM(木)	
フ	フルゴート(木)	フェリオガーブルD(木)	
ボ	ボーザ(木)	フルド(木)	
メ	モンカント4(木)	モンカント4(木)	
モ	ヨネボ(木)	ヨネボ(木)	
リ	リ(木)	リ(木)	
ラ	ランマジン(木)	ランマジン(木)	
リ	リジャック(木)	リミルゴールドM2(木)	
リ	リバース(木)	リバース(木)	
ロ	ローブル(木)	ローブル(木)	
ズ	ズボルド(木)	ズボルド(木)	

※1:アリエッティ(木)とフロアフル剤を混用する場合は、必ずアフロアフル剤を最初に所定濃度に希釈してから、アリエッティ(木)を直接に加える。

記入例

[記入方法①]
上段に散布日を記入し、左記より使用した農業を選んで「○」を付ける簡単な記帳方法です。

平成年 月 日	1	農業番号	農業名																
100	1	121	きゅうり/夏秋きゅうり)	オーソサイド水和剤80	〔液剤〕	190440	○	90785	ダントン粒剤	〔液剤〕	19388	オーソサイド水和剤	〔液剤〕	90785	ダントン粒剤	〔液剤〕	190440	オーソサイド水和剤80	〔液剤〕
100	1	121	きゅうり/夏秋きゅうり)	ジマンタイセン水和剤	〔液剤〕	190449	○	91776	ベフード水和剤	〔液剤〕	19001	ペフレート水和剤	〔液剤〕	94170	スコア顆粒水和剤	〔液剤〕	92889	ベンゼンプロアブル	〔液剤〕
100	1	121	きゅうり/夏秋きゅうり)	スコア顆粒水和剤	〔液剤〕	190449	○	91776	ベフード水和剤	〔液剤〕	19001	ペフレート水和剤	〔液剤〕	94170	スコア顆粒水和剤	〔液剤〕	92889	ベンゼンプロアブル	〔液剤〕
100	1	121	きゅうり/夏秋きゅうり)	ハチハイド乳剤	〔液剤〕	94170	○	91776	ベフード水和剤	〔液剤〕	19001	ペフレート水和剤	〔液剤〕	94170	スコア顆粒水和剤	〔液剤〕	92889	ベンゼンプロアブル	〔液剤〕
100	1	121	きゅうり/夏秋きゅうり)	スニケンクス顆粒水和剤	〔液剤〕	92412	○	91776	ベフード水和剤	〔液剤〕	19001	ペフレート水和剤	〔液剤〕	94170	スコア顆粒水和剤	〔液剤〕	92889	ベンゼンプロアブル	〔液剤〕
100	1	121	きゅうり/夏秋きゅうり)	ハチハイド乳剤	〔液剤〕	92412	○	91776	ベフード水和剤	〔液剤〕	19001	ペフレート水和剤	〔液剤〕	94170	スコア顆粒水和剤	〔液剤〕	92889	ベンゼンプロアブル	〔液剤〕
100	1	121	きゅうり/夏秋きゅうり)	スミケン/水和剤	〔液剤〕	92412	○	91776	ベフード水和剤	〔液剤〕	19001	ペフレート水和剤	〔液剤〕	94170	スコア顆粒水和剤	〔液剤〕	92889	ベンゼンプロアブル	〔液剤〕
100	1	121	きゅうり/夏秋きゅうり)	ハスダラ速剤	〔液剤〕	91620	○	91776	ベフード水和剤	〔液剤〕	19001	ペフレート水和剤	〔液剤〕	94170	スコア顆粒水和剤	〔液剤〕	92889	ベンゼンプロアブル	〔液剤〕
100	1	121	きゅうり/夏秋きゅうり)	ラウンドアップマックスロード	〔除草剤〕	9462	○	91776	ベフード水和剤	〔液剤〕	19001	ペフレート水和剤	〔液剤〕	94170	スコア顆粒水和剤	〔液剤〕	92889	ベンゼンプロアブル	〔液剤〕
100	1	121	きゅうり/夏秋きゅうり)	スミケン/水和剤	〔液剤〕	92412	○	91776	ベフード水和剤	〔液剤〕	19001	ペフレート水和剤	〔液剤〕	94170	スコア顆粒水和剤	〔液剤〕	92889	ベンゼンプロアブル	〔液剤〕
100	1	121	きゅうり/夏秋きゅうり)	ハスダラ速剤	〔液剤〕	91620	○	91776	ベフード水和剤	〔液剤〕	19001	ペフレート水和剤	〔液剤〕	94170	スコア顆粒水和剤	〔液剤〕	92889	ベンゼンプロアブル	〔液剤〕
100	1	121	きゅうり/夏秋きゅうり)	スミケン/水和剤	〔液剤〕	92412	○	91776	ベフード水和剤	〔液剤〕	19001	ペフレート水和剤	〔液剤〕	94170	スコア顆粒水和剤	〔液剤〕	92889	ベンゼンプロアブル	〔液剤〕
100	1	121	きゅうり/夏秋きゅうり)	ハスダラ速剤	〔液剤〕	91620	○	91776	ベフード水和剤	〔液剤〕	19001	ペフレート水和剤	〔液剤〕	94170	スコア顆粒水和剤	〔液剤〕	92889	ベンゼンプロアブル	〔液剤〕
100	1	121	きゅうり/夏秋きゅうり)	ラウンドアップマックスロード	〔除草剤〕	9462	○	91776	ベフード水和剤	〔液剤〕	19001	ペフレート水和剤	〔液剤〕	94170	スコア顆粒水和剤	〔液剤〕	92889	ベンゼンプロアブル	〔液剤〕
100	1	121	きゅうり/夏秋きゅうり)	スミケン/水和剤	〔液剤〕	92412	○	91776	ベフード水和剤	〔液剤〕	19001	ペフレート水和剤	〔液剤〕	94170	スコア顆粒水和剤	〔液剤〕	92889	ベンゼンプロアブル	〔液剤〕
100	1	121	きゅうり/夏秋きゅうり)	ハスダラ速剤	〔液剤〕	91620	○	91776	ベフード水和剤	〔液剤〕	19001	ペフレート水和剤	〔液剤〕	94170	スコア顆粒水和剤	〔液剤〕	92889	ベンゼンプロアブル	〔液剤〕

【記入方法②】

農業・植物整腸剤・除草剤を記入してください。
展着剤・葉面散布剤は記入の必要はありません。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	
100	1	121	きゅうり/夏秋きゅうり)	オーソサイド水和剤80	〔液剤〕	190440	○	90785	ダントン粒剤	〔液剤〕	19388	オーソサイド水和剤	〔液剤〕	90785	ダントン粒剤	〔液剤〕	190440	オーソサイド水和剤80	〔液剤〕	190440	オーソサイド水和剤80	〔液剤〕	190440	オーソサイド水和剤80	〔液剤〕	190440
100	1	121	きゅうり/夏秋きゅうり)	ジマンタイセン水和剤	〔液剤〕	190449	○	91776	ベフード水和剤	〔液剤〕	19001	ペフレート水和剤	〔液剤〕	94170	スコア顆粒水和剤	〔液剤〕	92889	ベンゼンプロアブル	〔液剤〕	190440	オーソサイド水和剤80	〔液剤〕	190440	オーソサイド水和剤80	〔液剤〕	190440
100	1	121	きゅうり/夏秋きゅうり)	スコア顆粒水和剤	〔液剤〕	190449	○	91776	ベフード水和剤	〔液剤〕	19001	ペフレート水和剤	〔液剤〕	94170	スコア顆粒水和剤	〔液剤〕	92889	ベンゼンプロアブル	〔液剤〕	190440	オーソサイド水和剤80	〔液剤〕	190440	オーソサイド水和剤80	〔液剤〕	190440
100	1	121	きゅうり/夏秋きゅうり)	ハチハイド乳剤	〔液剤〕	92412	○	91776	ベフード水和剤	〔液剤〕	19001	ペフレート水和剤	〔液剤〕	94170	スコア顆粒水和剤	〔液剤〕	92889	ベンゼンプロアブル	〔液剤〕	190440	オーソサイド水和剤80	〔液剤〕	190440	オーソサイド水和剤80	〔液剤〕	190440
100	1	121	きゅうり/夏秋きゅうり)	スニケンクス顆粒水和剤	〔液剤〕	92412	○	91776	ベフード水和剤	〔液剤〕	19001	ペフレート水和剤	〔液剤〕	94170	スコア顆粒水和剤	〔液剤〕	92889	ベンゼンプロアブル	〔液剤〕	190440	オーソサイド水和剤80	〔液剤〕	190440	オーソサイド水和剤80	〔液剤〕	190440
100	1	121	きゅうり/夏秋きゅうり)	ハスダラ速剤	〔液剤〕	91620	○	91776	ベフード水和剤	〔液剤〕	19001	ペフレート水和剤	〔液剤〕	94170	スコア顆粒水和剤	〔液剤〕	92889	ベンゼンプロアブル	〔液剤〕	190440	オーソサイド水和剤80	〔液剤〕	190440	オーソサイド水和剤80	〔液剤〕	190440
100	1	121	きゅうり/夏秋きゅうり)	ラウンドアップマックスロード	〔除草剤〕	9462	○	91776	ベフード水和剤	〔液剤〕	19001	ペフレート水和剤	〔液剤〕	94170	スコア顆粒水和剤	〔液剤〕	92889	ベンゼンプロアブル	〔液剤〕	190440	オーソサイド水和剤80	〔液剤〕	190440	オーソサイド水和剤80	〔液剤〕	190440
100	1	121	きゅうり/夏秋きゅうり)	スミケン/水和剤	〔液剤〕	92412	○	91776	ベフード水和剤	〔液剤〕	19001	ペフレート水和剤	〔液剤〕	94170	スコア顆粒水和剤	〔液剤〕	92889	ベンゼンプロアブル	〔液剤〕	190440	オーソサイド水和剤80	〔液剤〕	190440	オーソサイド水和剤80	〔液剤〕	190440
100	1	121	きゅうり/夏秋きゅうり)	ハスダラ速剤	〔液剤〕	91620	○	91776	ベフード水和剤	〔液剤〕	19001	ペフレート水和剤	〔液剤〕	94170	スコア顆粒水和剤	〔液剤〕	92889	ベンゼンプロアブル	〔液剤〕	190440	オーソサイド水和剤80	〔液剤〕	190440	オーソサイド水和剤80	〔液剤〕	190440
100	1	121	きゅうり/夏秋きゅうり)	ラウンドアップマックスロード	〔除草剤〕	9462	○	91776	ベフード水和剤	〔液剤〕	19001	ペフレート水和剤	〔液剤〕	94170	スコア顆粒水和剤	〔液剤〕	92889	ベンゼンプロアブル	〔液剤〕	190440	オーソサイド水和剤80	〔液剤〕	190440	オーソサイド水和剤80	〔液剤〕	190440
100	1	121	きゅうり/夏秋きゅうり)	スミケン/水和剤	〔液剤〕	92412	○	91776	ベフード水和剤	〔液剤〕	19001	ペフレート水和剤	〔液剤〕	94170	スコア顆粒水和剤	〔液剤〕	92889	ベンゼンプロアブル	〔液剤〕	190440	オーソサイド水和剤80	〔液剤〕	190440	オーソサイド水和剤80	〔液剤〕	190440
100	1	121	きゅうり/夏秋きゅうり)	ハスダラ速剤	〔液剤〕	91620	○	91776	ベフード水和剤	〔液剤〕	19001	ペフレート水和剤	〔液剤〕	94170	スコア顆粒水和剤	〔液剤〕	92889	ベンゼンプロアブル	〔液剤〕	190440	オーソサイド水和剤80	〔液剤〕	190440	オーソサイド水和剤80	〔液剤〕	190440

006

006

「収穫開始日」「生産者確認」欄は一枚目同様に二枚目にも記入。

収穫開始日(月)(日)	07月2日
生産者番号	豊見太郎
姓 名:	豊見太郎
氏 名:	太郎

③対応するマスに
「○」をつける。

②農業を選ぶ
※農業名はH・野菜防除基準に採用している農業を印刷。

記載がない農業は農業番号・薬剤名・倍数を手書きする。

倍数が異なる場合
は枠内に記入。

「収穫開始日」「生産者確認」欄を必ず記入し、収穫(出荷)前の提出をお願いします。

「収穫開始日」「生産者確認」欄は一枚目同様に二枚目にも記入。

収穫開始日(月)(日)	07月2日
生産者番号	豊見太郎
姓 名:	豊見太郎
氏 名:	太郎

006

006

農業コード表(対象作物:野菜) アルファベット→カタカナ→漢字の順で並んでいます。

コード	名称	用金	コード	名称	用金	コード	名称	用金	コード	名称	用金
91473 DC肥料	殺虫剤	殺菌剤	94759 アフェットプロアフル	殺菌剤	95254 オカラカル粉剤	殺虫剤	94682 ブリアザーフロアフル	殺虫剤	92893 コンドラル	除草剤	
90527 D-D	殺虫殺菌剤	殺虫剤	91671 プローチB1	その他	95253 オラクル顆粒水和剤	殺虫剤	92892 ブリアターン細粒剤	殺虫剤	93202 サーフオーラル	殺菌剤	
94683 D-D	殺虫殺菌剤	殺虫剤	92750 オリオン水和剤40	殺虫剤	92789 カルナクス	殺虫剤	92892 ブリアターン乳剤	殺虫剤	93202 サーフオーラル	殺菌剤	
92807 DG-D	殺虫殺菌剤	殺虫剤	93396 プローティプロアフル	その他	94479 カルニオ	殺虫剤	92892 ブリアターンガルバ	殺虫剤	90427 サイアノクスク粉剤	殺虫剤	
91453 K-Kステッカー	殺虫剤	殺虫剤	91581 プロードワープロアフル	その他	90666 カルネス乳剤	殺虫剤	94860 クーンシスカルガード	殺虫剤	92149 サイハロン水和剤	殺虫剤	
95571 KBW	殺菌剤	殺虫剤	91434 プロロン	殺虫剤	90949 カレホス微粒剤F	殺菌剤	90450 クーナダニカルミ水和剤	殺虫剤	92150 サイハロン乳剤	殺虫剤	
92345 MR-ジョーカー粉剤DL	殺虫剤	殺虫剤	98049 プペイル施剤	殺虫剤	90802 カルネス粉剤	殺虫剤	91120 グリーンベイト	殺虫剤	95440 チケサソ液剤	除草剤	
90186 NCS	殺虫殺菌剤	殺虫剤	99055 アベンジャーフロアフル	殺虫剤	90969 カルネス粉剤3	殺虫剤	92888 クーンベニコゼル水和剤	殺虫剤	91059 サターンハプロ超乳剤	除草剤	
94525 Y-ハッテン	殺虫剤	殺虫剤	93413 アミスミ-2プロアフル	殺虫剤	90176 カルメ-55	殺虫剤	92877 クリエキス液剤	殺虫剤	94302 サバクトップ	殺虫剤	
90136 Zカルド-粉剤DL	殺虫剤	殺虫剤	92615 ズカルドス粉剤DL	殺虫剤	92061 カルミック	殺虫剤	95225 サボイル乳剤	殺虫剤	98453 カリホス液剤	殺虫剤	
94872 アークライト液剤	殺虫殺菌剤	殺虫剤	91504 リエントC水和剤	殺虫剤	98815 カルタ-	殺虫剤	91131 サーマジ	殺虫剤	99139 サブリナフロアフル	殺虫剤	
97556 アースガーデン	殺虫剤	殺虫剤	91837 アリエティ水和剤	殺虫剤	94239 クルーチ-FS30	殺虫剤	90912 サブロール乳剤	殺虫剤	94415 サブリナフロアフル	殺虫剤	
92834 ア-メント水和剤	殺虫剤	殺虫剤	94037 アリカタ	殺虫剤	97553 カンボニラスルドSC	殺虫剤	95452 クルーチ-MAXX	殺虫剤	93569 チルハトーレM-E	殺菌剤	
94463 アーリーセーフ	殺虫殺菌剤	殺虫剤	99011 アルカリリン液剤10	殺虫剤	93245 カンニハ水和剤	殺虫剤	98519 クリーシャー	殺虫剤	92356 サリファーブル	殺虫殺菌剤	
94899 アーリーセラスター	殺虫殺菌剤	殺虫剤	93897 アルカリリン粉剤DL	殺虫剤	97676 キットップ	殺虫剤	90388 クレフン	殺虫剤	92065 サンキヤツ液剤30S	殺虫殺菌剤	
96571 アイヤヘル	殺虫剤	殺虫剤	93891 アルカリリン粒剤	殺虫剤	95178 キッカブ顆粒水和剤	殺虫剤	91209 クルマトU乳剤	殺虫剤	93617 サンクリスタル乳剤	殺虫殺菌剤	
98077 アカメ	殺虫剤	殺虫剤	93895 カルナシストCスルド	殺虫剤	92421 クルマ-1乳剤	殺虫剤	94042 サンクリスタルU-007	殺虫剤	94026 サンクリスタル	殺虫殺菌剤	
93176 アカリタッヂ乳剤	殺虫殺菌剤	殺虫剤	92304 オカウラプロアフル	殺虫剤	90503 キンドード40	殺虫剤	92877 サンマークロン液剤	殺虫剤	92796 サンプロDNPプロアル	殺虫殺菌剤	
94860 アセヒカルプロアフル	殺虫剤	殺虫剤	94757 イサバカリ	殺虫剤	97875 キンドード	殺虫剤	98860 カロスマクラプロアフル	殺虫剤	97926 サンプロDNP液剤	殺虫殺菌剤	
94904 アセレプロアフル	殺虫剤	殺虫剤	96558 イチケーンC水和剤	殺虫剤	90530 キビゲン	殺虫殺菌剤	90219 クロビ780	殺虫殺菌剤	97925 サンプロアフル	殺虫殺菌剤	
95316 アセレベイト	殺虫剤	殺虫剤	97942 インガーランシング	殺虫剤	93772 キビデンド-2プロアフル	殺虫殺菌剤	93558 クロビガーデーブ	殺虫殺菌剤	90920 サンカルド-	殺虫殺菌剤	
94506 アクラダAL	殺虫剤	殺虫剤	94041 インプレショニ水和剤	殺虫剤	98170 キモバール	殺虫殺菌剤	94128 クロビクロー-	殺虫殺菌剤	92467 サンマイフル	殺虫殺菌剤	
93823 アクタム颗粒水溶剤	殺虫殺菌剤	殺虫剤	93169 イヌスペク	殺虫剤	97849 キモンプロク液剤	殺虫殺菌剤	98051 クロビクロー-MN	殺虫殺菌剤	90359 サンヨウドウル	殺虫殺菌剤	
93322 アクタム颗粒水溶剤	殺虫殺菌剤	殺虫剤	96325 カーニバル	殺虫剤	94140 キモンプロク液剤	殺虫殺菌剤	92156 クロビクロー	殺虫殺菌剤	97926 サンヨウドウル	殺虫殺菌剤	
98419 アクタムガード顆粒水溶剤	殺虫殺菌剤	殺虫剤	94896 カートーベット	殺虫剤	90927 キヤフレード	殺虫殺菌剤	90275 クロロップ	殺虫殺菌剤	93044 シーザー ジエト	殺虫殺菌剤	
90050 アクリシシ-100	殺虫殺菌剤	殺虫剤	95642 ウララくん選剤	殺虫剤	94720 キュービオY-02	殺虫殺菌剤	90114 クロロップC乳剤	殺虫殺菌剤	92967 シアソ	殺虫殺菌剤	
97582 アクリメック	殺虫剤	殺虫剤	91440 アーダック乳剤	殺虫剤	90386 キコウラ	殺虫殺菌剤	90160 クラガード50	殺虫殺菌剤	92766 シーファイン水和剤	殺虫殺菌剤	
95184 アフレード	殺虫殺菌剤	殺虫剤	92379 エイトアップ液剤	殺虫剤	97520 キュプロバイグリッパン	殺虫殺菌剤	92426 ケーターワー水和剤	殺虫殺菌剤	93044 シーザー ジエト	殺虫殺菌剤	
90933 アグレーフ	殺虫殺菌剤	殺虫剤	96602 エイブロン-31	殺虫殺菌剤	90927 キラフプロアフル	殺虫殺菌剤	93676 ラットアワ-WDG	殺虫殺菌剤	93985 シエイエース水溶剤	殺虫殺菌剤	
90152 アレクト	殺虫殺菌剤	殺虫剤	98388 エクシード	殺虫剤	94720 キュビオY-2プロアフル	殺虫殺菌剤	90114 クロロップC乳剤	殺虫殺菌剤	92967 シアソ	殺虫殺菌剤	
94933 エクシード	殺虫殺菌剤	殺虫剤	94333 エクシード	殺虫剤	91190 キンセンド乳剤	殺虫殺菌剤	92710 コサイドDF	殺虫殺菌剤	93986 シエヌレート水溶剤	殺虫殺菌剤	
91966 エクソリジン	殺虫殺菌剤	殺虫剤	94537 エクシード	殺虫剤	93535 クオ-クロー	殺虫殺菌剤	91909 コ-ゴーサン細粒新	殺虫殺菌剤	93068 ジエヌレート	殺虫殺菌剤	
91967 エクソジン乳剤	殺虫殺菌剤	殺虫剤	94527 エコホーブD	殺虫剤	93404 クメリス	殺虫殺菌剤	9437 コ-ゴ-サ-ン	殺虫殺菌剤	98013 シオジット水和剤	殺虫殺菌剤	
93254 アクロマックス水溶剤	殺虫殺菌剤	殺虫剤	94582 ココマスターBT	殺虫剤	99111 クメリスEX	殺虫殺菌剤	93676 ラットアワ-WDG	殺虫殺菌剤	94807 シナチム	殺虫殺菌剤	
90152 アクシード	殺虫殺菌剤	殺虫剤	92749 カスケード乳剤	殺虫剤	94355 クラギンガードスロアフル	殺虫殺菌剤	94932 ラサ-3000	殺虫殺菌剤	93986 シズミミヤコくん	殺虫殺菌剤	
94933 エクシード	殺虫殺菌剤	殺虫剤	92430 カスケード水溶剤	殺虫剤	95661 クサクリア	殺虫殺菌剤	91909 コ-ゴーサン	殺虫殺菌剤	93264 シトラグ	殺虫殺菌剤	
91967 エクソジン乳剤	殺虫殺菌剤	殺虫剤	93170 カビテラクシ	殺虫剤	93401 クサクリーン	殺虫殺菌剤	91838 コサトリーノ	殺虫殺菌剤	90168 シベラ	殺虫殺菌剤	
95250 アクロマックス水溶剤	殺虫殺菌剤	殺虫剤	91999 カスミンボリド-	殺虫剤	95153 クサトリーソ	殺虫殺菌剤	91897 シベーラ旋5	殺虫殺菌剤	90185 シベーラ旋5	殺虫殺菌剤	
90152 アクシード	殺虫殺菌剤	殺虫剤	92718 カセット水和剤	殺虫剤	94147 コ-ゴ-サ-ン	殺虫殺菌剤	91487 コ-ゴ-サ-ン	殺虫殺菌剤	93676 ラタトミル	殺虫殺菌剤	
90152 アクシード	殺虫殺菌剤	殺虫剤	92664 カタツメ	殺虫剤	94355 クラギンガードスロアフル	殺虫殺菌剤	94932 ラサ-3000	殺虫殺菌剤	98181 シズミミヤコくん	殺虫殺菌剤	
90568 アタックオイル	殺虫殺菌剤	殺虫剤	93370 エクスマリックDF	殺虫剤	95661 クサクリア	殺虫殺菌剤	92710 コサイドDF	殺虫殺菌剤	93264 シトラグ	殺虫殺菌剤	
92185 アブプロン乳剤	殺虫殺菌剤	殺虫剤	90754 エクスレスル10	殺虫剤	93401 クサクリーン	殺虫殺菌剤	91838 コサトリーノ	殺虫殺菌剤	90168 シベラ	殺虫殺菌剤	
95250 アブロライト	殺虫殺菌剤	殺虫剤	97639 エトナフロアフル	殺虫剤	95153 クサトリーソ	殺虫殺菌剤	91897 コサトリーソ	殺虫殺菌剤	90185 シベーラ旋5	殺虫殺菌剤	
92442 アドアイシンドロアフル	殺虫殺菌剤	殺虫剤	91059 エトナフロアフル	殺虫剤	94266 クサトリーソ	殺虫殺菌剤	92710 コサイド	殺虫殺菌剤	90169 シベーラ	殺虫殺菌剤	
91709 アドマイン乳剤	殺虫殺菌剤	殺虫剤	90352 エルサン乳剤	殺虫剤	94171 クサトローゼ	殺虫殺菌剤	94734 コツツ	殺虫殺菌剤	91584 シベーラ	殺虫殺菌剤	
92649 アドマイヤー1粒剤	殺虫殺菌剤	殺虫剤	90150 エルサン粉剤12	殺虫剤	93047 コツツ	殺虫殺菌剤	93047 コツツ	殺虫殺菌剤	90171 シベーラ	殺虫殺菌剤	
92774 アドマイヤー水和剤	殺虫殺菌剤	殺虫剤	90148 エルサン粉剤12	殺虫剤	93830 コツツ	殺虫殺菌剤	93047 コツツ	殺虫殺菌剤	93175 シマシタセ	殺虫殺菌剤	
92647 アドマイヤー1粒剤	殺虫殺菌剤	殺虫剤	92930 エンストリップ	殺虫剤	94897 コレラ	殺虫殺菌剤	98803 クガードSC	殺虫殺菌剤	90449 ジマンダンゼイシ	殺虫殺菌剤	
95166 アキ乳剤	殺虫殺菌剤	殺虫剤	90440 エルカ	殺虫剤	92600 コロナプロアフル	殺虫殺菌剤	94652 クミテンエース	殺虫殺菌剤	96714 ジャスティック	殺虫殺菌剤	
90616 アビオンエース	殺虫殺菌剤	殺虫剤	91960 エールスター	殺虫剤	93255 コロマイト	殺虫殺菌剤	93452 ジヤスモード	殺虫殺菌剤	93593 ジヤスモード	殺虫殺菌剤	
94578 アーメニラム殺虫剤	殺虫殺菌剤	殺虫剤	94145 オキシラム水和剤	殺虫剤	92711 クムラス	殺虫殺菌剤	92711 コロマイト	殺虫殺菌剤	94031 ジヤスモード	殺虫殺菌剤	
93349 アーム乳剤	殺虫殺菌剤	殺虫剤	91577 キシントー水和剤80	殺虫剤	91495 グラムックス水和剤	殺虫殺菌剤	94005 コンカラカル	殺虫殺菌剤	95148 ジャッカルト	殺虫殺菌剤	
93403 アイバール	殺虫殺菌剤	殺虫剤	93374 オクトクロス	殺虫剤	98867 カビテイスP水和剤	殺虫殺菌剤	94199 コンフューチャーV	殺虫殺菌剤	98056 シャフト	殺虫殺菌剤	

品名	名稱	コード	名稱	コード	名稱	コード	名稱	コード
9493 ジュリボンプロアブル	殺虫剤	98575 ツバキエキス-CD	殺菌剤	95206 シタマツツバキ-25	殺虫剤	98075 ハイデートMK	殺虫剤	93826 ファルコンプロアブル
9363 シヨウスター	殺虫剤	98575 ツバキエキス-CD	殺菌剤	94357 ツバキパラリ	殺虫剤	93708 ハイテンパバー	殺虫剤	96715 ランジシタクシド
98050 ショウテクプロアブル	殺虫剤	92995 リタールWDG	殺菌剤	90851 ディーラベックス油剤	殺虫剤	93708 ハイテンパバー	殺虫剤	96715 ランジシタクシド
9346 ショットガン	殺虫剤	93534 ナーシアプロ液剤	除草剤	96445 テアナSC	殺虫剤	96716 ブンベルガム液剤	殺虫剤	96715 ランジシタクシド
94237 シンシングリスター	殺虫剤	90088 ダイアジン水和剤34	殺虫剤	94000 テク水和剤	殺虫剤	94003 ハイビニカSグレー	殺虫剤	93708 ハイテンパバー
92244 スカワトプロアブル	殺虫剤	90313 ダイアジン水和剤40	殺虫剤	90190 テチオソニン水和剤	殺虫剤	97009 バイレーツー油剤	殺虫剤	96715 ランジシタクシド
92050 スカワト処理剤	殺虫剤	93609 ダイアジン水和剤10	殺虫剤	92563 テチオソニン乳剤	殺虫剤	97908 バイレーツー油剤	殺虫剤	96715 ランジシタクシド
93057 スカルフシユ	その他	90184 ダイアジン乳剤13	殺虫剤	90128 テチオソニン5%ペイト	除草剤	92424 バウミル水和剤	殺虫剤	95219 フィールドスター乳剤
98058 スカルフシユ	殺虫剤	90429 ダイアジン乳剤15	殺虫剤	9138 ニコラスホーリー乳剤	殺虫剤	9178 ナクサプロ	殺虫剤	93057 フィールドスター乳剤
91888 スクリーパー	殺虫剤	94208 ダイアルメットDF	殺虫剤	92079 テミニ水和剤75	殺虫剤	94233 レボン粉剤DL	殺虫剤	94003 ハイビニカSグレー
92689 スコフ水和剤10	殺虫剤	95134 ナイモ類粒水和剤	殺虫剤	95271 テュールゴールド	殺虫剤	90135 ドクロール	殺虫剤	94233 レボン粉剤DL
94170 スコフ原粒水和剤	殺虫剤	93572 ダイワ水和剤	殺虫剤	92083 テュールゴールド	殺虫剤	95183 ナイスブレー	殺虫剤	95183 ナイスブレー
97686 スターフォーラスAL	殺虫剤	93644 ダイマジン	殺虫剤	97516 デュアルサイド水和剤	殺虫剤	9178 ナミック	殺虫剤	94003 ハイビニカSグレー
95197 スターガード乳剤	殺虫剤	93810 ダイリク	殺虫剤	98306 テリシャス水和剤	殺虫剤	99057 ナミック	殺虫剤	94233 レボン粉剤DL
94153 スタークライド乳剤10	殺虫剤	90980 ダコソル	殺虫剤	95146 テルスタージェット	殺虫剤	94620 ナメクジ退治	殺虫剤	94233 レボン粉剤DL
94153 スターキャラス	殺虫剤	90398 ダコニール1000	殺虫剤	92093 テュールゴールド	殺虫剤	98069 ナメリーン	殺虫剤	94233 レボン粉剤DL
93896 スターキャラス	殺虫剤	93562 ダコニールエース	殺虫剤	92597 テルスター水和剤	殺虫剤	94619 フモール	殺虫剤	94233 レボン粉剤DL
93898 スターキャラス	殺虫剤	94551 ダコニールジェット	殺虫剤	93379 テルイン噴霧水和剤	殺虫剤	98338 ベスタ	殺虫剤	94233 レボン粉剤DL
93899 スターキャラス	殺虫剤	90471 ダコニール粉剤	殺虫剤	92552 テリナ水和剤	殺虫剤	98816 ミタラ	殺虫剤	94233 レボン粉剤DL
92220 スターナーナー	殺虫剤	93541 ダコニール噴霧水和	殺虫剤	94639 テロノ	殺虫剤	99056 ナタックス粒剤	殺虫剤	94233 レボン粉剤DL
94813 スターマイプロアブル	殺虫剤	91154 ダコレート水和剤	殺虫剤	97683 テンアップ	殺虫剤	98068 ノメイト	殺虫剤	94233 レボン粉剤DL
90626 スターネック	その他	98082 ダチガラシファイト液剤	殺虫剤	93468 プロコラム粉剤CT	殺虫剤	99056 ナタックス粒剤	殺虫剤	94233 レボン粉剤DL
9333 斯トロビーロアブル	殺虫剤	90421 ダチガラシ液剤	殺虫剤	91240 ドロボウボルドーA	殺虫剤	98086 ニキベイト	殺虫剤	94233 レボン粉剤DL
94785 スネップ粒剤	殺虫剤	94071 ダチダウソQ	殺虫剤	93587 ドギボルドーDF	殺虫剤	98033 ネクシジンSC	殺虫剤	94233 レボン粉剤DL
94770 スハイカルルBX	殺虫剤	98839 ダニオーテ	殺虫剤	94104 ドニヤスフロアブル	殺虫剤	97522 ネクシジンSC	殺虫剤	94233 レボン粉剤DL
96334 スハイカルルプラス	殺虫剤	98053 ダニニングプロアブル	殺虫剤	90528 ドーマイシン水和剤	殺虫剤	94356 ネコギチャッケプロ	殺虫剤	94233 レボン粉剤DL
92929 スペイティックス	殺虫剤	94630 ダニニーフロアブル	殺虫剤	92653 ドギボルドーA	殺虫剤	95703 ネコギプロ液剤	殺虫剤	94233 レボン粉剤DL
93546 スピニエース	殺虫剤	92461 ダニトロンプロアブル	殺虫剤	90838 ドクチオソニン乳剤	殺虫剤	94832 ネビジンSC	殺虫剤	94233 レボン粉剤DL
90524 スラサイド水溶	殺虫剤	94137 ダニメクプロアブル	殺虫剤	90837 ドクチオソ粉剤	殺虫剤	92646 ネビジン粉剤	殺虫剤	94233 レボン粉剤DL
94654 スライザーエース	殺虫剤	94836 ダニニ太郎	殺虫剤	90140 ドクチオソ粉剤	殺虫剤	94939 ネビジン噴霧水和剤	殺虫剤	94233 レボン粉剤DL
90454 スプレーオリ	殺虫剤	94540 フローバブル	殺虫剤	90528 ドーマイシン水和剤	殺虫剤	95781 リリヤード噴霧水和剤	殺虫剤	94233 レボン粉剤DL
92925 スミセビンプロアブル	殺虫剤	98411 ダブルルシーター-S-E	殺虫剤	94213 トスベック	殺虫剤	90630 リリヤード液剤	殺虫剤	94233 レボン粉剤DL
90120 スミチオツ乳剤	殺虫剤	93861 ダブルストッパー	殺虫剤	91061 ドップジンMグル	殺虫剤	92225 リリヤード液剤	殺虫剤	94233 レボン粉剤DL
94528 スミフエト	水溶剤	98054 ダブルフロアブル	殺虫剤	90836 トツジンMペースト	殺虫剤	98034 リリヤード粒剤	殺虫剤	94233 レボン粉剤DL
94529 スミフエート製剤	殺虫剤	92314 ダルガフロアブル	殺虫剤	90558 トツジン-M-NPK粉剤	殺虫剤	97689 ネマキック粒剤	殺虫剤	94233 レボン粉剤DL
92425 スミフレンド水和剤	殺虫剤	93883 タンボツ水溶剤	殺虫剤	94690 トツジン-M粉剤DL	殺虫剤	98312 ネマキック粉剤	殺虫剤	94233 レボン粉剤DL
91157 ミックスイム殺虫剤	殺虫剤	93885 タントジンM粉剤	殺虫剤	90178 ドマトーン	殺虫剤	93590 ネマトシンエース	殺虫剤	94233 レボン粉剤DL
91157 ミックスイム殺虫剤	殺虫剤	90116 ドラム80	殺虫剤	93622 ドマトーンS	殺虫剤	92959 ネマトシンDF	殺虫剤	94233 レボン粉剤DL
92375 ミスミド	殺虫剤	93507 ドモノールS	殺虫剤	90403 ドモノール	殺虫剤	92438 ネマキック粒剤	殺虫剤	94233 レボン粉剤DL
94547 スラゴ	殺虫剤	93509 チエス粒剤	殺虫剤	98548 ドライバー	殺虫剤	94952 ネマキック粒剤	殺虫剤	94233 レボン粉剤DL
94812 スワルスキ	殺虫剤	94388 チエス顆粒水和剤	殺虫剤	91458 ドラッグラム水和剤	殺虫剤	98312 ネマキック粉剤	殺虫剤	94233 レボン粉剤DL
95588 スワルスキーブラス	殺虫剤	94947 チヤーバ	殺虫剤	98380 ラグラン	殺虫剤	98251 ヒネガ-キラー	殺虫剤	94233 レボン粉剤DL
93170 セイタプロアブル	殺虫剤	92059 チエス水和剤	殺虫剤	93507 チエス粒剤	殺虫剤	92883 ヒメイード液剤	殺虫剤	94233 レボン粉剤DL
94647 セローフロアブル	殺虫剤	95147 チューリップ粉剤水和剤	殺虫剤	91985 リミニジンジェット	殺虫剤	93368 ヒメイード	殺虫剤	94233 レボン粉剤DL
93410 セクト乳剤	殺虫剤	93708 チエス顆粒水和剤	殺虫剤	91846 ドラッグラム油剤	殺虫剤	91070 ヒメイード	殺虫剤	94233 レボン粉剤DL
96359 セナーテ水和剤	殺虫剤	94940 チリカ-ワカ-	殺虫剤	92292 ドリミン乳剤	殺虫剤	92871 ブロードタ	殺虫剤	94233 レボン粉剤DL
91219 センコル水和剤	殺虫剤	94486 チリカブリ	殺虫剤	95211 ドルネードエースDF	殺虫剤	97692 ブロディア	殺虫剤	94233 レボン粉剤DL
93223 ゼンタ一葉粒水和剤	殺虫剤	93919 チリトップ	殺虫剤	90246 トレスナサイド乳剤	殺虫剤	98869 ブロアラ	殺虫剤	94233 レボン粉剤DL
93589 ソリーン	殺虫剤	93933 ツヤマリエE30	殺虫剤	90392 トレスナサイド乳剤2.5	殺虫剤	92179 ハスロード乳剤	殺虫剤	94233 レボン粉剤DL
98893 ソーフガード	殺虫剤	93760 シヤーッツ	殺虫剤	92673 レボンE	殺虫剤	93187 バイオニア	殺虫剤	94233 レボン粉剤DL

品名	品番	名稱	用法	名稱	用法	名稱	用法
92301 フロン・サイド水和剤	919001	ベンゾレート水和剤	殺菌剤	90128	ミクロテナ [®] 水和剤85	除草剤	99030 草刈りサクサク原液
92302 フロン・サイド粉剤	93647	ホーメースト乳剤	殺菌剤	98904	ミジットップ	除草剤	99346 草枯らし
92301 ベオフレM [®] 液剤	90902	ホーメイコート	殺虫剤	94307	ミドリヒメ	殺虫剤	98575 草屑液ス
95301 ベガスフローブル	90901	ホーマイ水和剤	殺菌剤	94598	ミニターナVG	殺菌剤	92336 洗浄剤
94329 ベジキーパー水和剤	93979	ホタニガードES	殺菌剤	98180	ミクターノオオ乳剤	殺虫剤	95189 展着ハワダーザ30
98063 ベジセイバー	96568	ホタニガード水和剤	殺菌剤	95435	ミヤコップ	殺虫剤	94724 展着剤ササラ
95644 ベジタードDF	93398	ホタガードDF	殺菌剤	98807	ミオネアプロアル	殺菌剤	91211 塗着剤用一エード
99073 ベジタブルガード	93482	ホト水和剤	殺菌剤	97521	ムジラップ	殺虫剤	91451 塗着用ペアニン
93042 ベジタスマートAL	92944	ホトガード水和剤	殺菌剤	97521	ムジラップ	殺虫剤	93424 葉着くん液剤
98323 ベジード乳剤	93646	ホライドライプロアル	殺菌剤	98199	ペターナ [®] SL	殺虫剤	91956 リモニル殺菌剤2
93008 ベストガード水溶剤	95277	ホタムガムクム原液水和	殺虫剤	90420	メルオイノール	殺虫剤	98421 リナセル原液水和剤
93009 ベニア [®] ガード泡剤	94315	ホトキシル水和剤	殺虫剤	93918	メトリップ	殺虫剤	90079 鹿業用生石灰
91314 ベタハV	90371	ホオキシル水和剤	殺虫剤	95643	モストランR [®] ガーバー	殺虫剤	95315 鹿業用マーカスミル
94878 ベオフレータ組合水和剤	90610	ホリオキシンAL乳剤	殺菌剤	94188	モズラン [®] プロアルD	殺虫剤	98074 粒状原粉1kg
98818 ベガスアブレー	91672	ホリベキシン水和剤	殺菌剤	93796	モズランSL	殺虫剤	94831 葉着葉用ばんN
98115 ベガスアブレー	91169	ホリドリード	殺虫剤	93127	野菜用ハンドスプレー	殺虫剤	93271 野菜用ハンドスプレー
98816 ベニカラ処剤	90010	ホドード [®] 液用生石灰	殺虫剤	93493	モズラン液剤	殺虫剤	94449 鹿業用原液
97160 ベカS [®] 乳剤	90138	ホドード液用粉用生石灰	その他	93016	モズラン水溶剤	殺虫剤	90072 粒状原粉50
98462 ベニカラフレッシュブレー	93419	ホドフロアプロ	殺菌剤	93017	モズラン粒剤	殺虫剤	90197 粒状粉剤80
98592 ベニカラガード粒剤	95299	ホワイトコート	殺菌剤	94969	モズラン [®] 原液水溶剤	殺虫剤	94019 粒状原粉
98461 ベニカラスクリーニング	94958	ホワイトブロッカ	殺菌剤	97546	モベントフロアプロ	殺虫剤	90240 瓶袋端
94959 ベニカラ [®] スクリーニング	92100	マイキラー	殺菌剤	90182	モズラン水和剤	殺虫剤	90054 施設鏡(粉)
94620 ベニカラ [®] スクリーニング	98445	マイキラー	殺菌剤	92968	モズラン [®] 原液	殺虫剤	90077 施設鏡(粉状)
99016 ベニカラ [®] スクリーニング	91786	マイコシールド	殺菌剤	93040	モンガル [®] プロアルD	殺虫剤	91982 粒状石灰茎葉40
97850 ベニカベシルスブレー	93336	マイコタール	殺菌剤	91695	モンガル [®] 水和剤	殺虫剤	90143 粒状石灰茎葉40
97119 ベニカラ [®] スクリーニング	90304	マイシング20水和剤	殺菌剤	92047	モカット [®] 水和剤50	殺虫剤	90725 粒状石灰茎葉55
98325 ベニカベジラル剪剝	91988	マイセイゼット	殺菌剤	92050	モカット [®] 粒剤	殺虫剤	90393 ロックス
94728 ベニカマルスドブレー	94249	マイターナ [®] 粒剤	殺菌剤	93891	モカット [®] 粒剤	殺虫剤	95177 ワイドコード
94848 ベニカマルスド液剤	92860	マイトクリーン	殺菌剤	91374	モ [®] エサイドID	殺虫剤	94589 ワイドシッター [®] 原液水和
98324 ベニカラ [®] ダグア [®] スプレー	93929	マイコアプロ	殺菌剤	92884	モニオーム [®] 粒剤	殺虫剤	93505 ワンナードP [®] 乳剤
94974 ベニカラ [®] スクリーナー	93268	マイネックス	殺菌剤	98778	モニオーム [®] アプロアル	殺虫剤	92981 モダンプロアル
94259 ベニカラ [®] スクリーニング	90645	マイマイベレット	殺菌剤	90735	日ネズミ	殺虫剤	95759 家庭園芸用スミミオ [®] 乳剤
94296 ベニカラ [®] 水溶剤	96552	マキシム40	殺菌剤	91824	ヨーナホ [®] 水和剤	殺虫剤	93215 家庭園芸用オルトラン [®] 水和
93397 ベニ [®] ダグア [®] K	98863	マグア [®] K	殺虫剤	94723	ヨーナイフ [®] アプロアル	殺虫剤	94308 食材衛生オルトラン [®] 粒剤
92556 ベニ [®] 水和剤	94124	まくひか	殺菌剤	91113	ラウンダーパウ	除草剤	97500 家庭園芸用ガーデン [®] ガーベ
91544 ベニ [®] スクリーナー	93798	マスター [®] スチース水和剤	殺菌剤	94462	ラウンダーラコス [®]	除草剤	93226 家庭園芸用スミミオ [®] 乳剤
98036 ベニア [®] 乳剤	93448	マツホ乳剤	殺虫剤	94798	ラクサ [®] 一乳剤	除草剤	93206 家庭園芸用スミミオ [®] 乳剤
91776 ベフロ [®] 水和剤	94197	マツホ [®] ガム [®] 一乳剤	殺虫剤	94549	ラクサ [®] 一乳剤	除草剤	95719 家庭園芸用スミミオ [®] 乳剤
96228 ベフラン [®] 液剤12.5	93612	マトリック [®] アプロアル	殺菌剤	98073	ラクト [®] ガード水和剤	殺虫剤	93327 家庭園芸用シジンソル
91571 ベフラン [®] 液剤25	93186	マネージDF	殺菌剤	93738	ラクビ [®] -MC粒剤	殺虫剤	95758 家庭園芸用ラクビ [®] 粒剤
98127 ベニ [®] ダツチ	92322	マネージ [®] スチース水和剤	殺菌剤	90472	ラク [®] ノ [®] 一乳剤	除草剤	94317 家庭園芸用ラクビ [®] 乳剤
94603 ベミハーバー	92024	マトリック [®] ジエット	殺虫剤	98851	ラディアントSC	殺虫剤	93177 家庭園芸用レジン [®] 液剤
98004 ベリマー [®] SC	92022	マトリック [®] 水和剤	殺虫剤	93251	ラノ [®] 乳剤	殺虫剤	93178 家庭園芸用レジン [®] 液剤
93369 ベルクラ [®] 水和剤	94587	モロホ [®] 颗粒水和剤	殺菌剤	93015	ラク [®] ノ [®] 乳剤	殺虫剤	92705 離粉ホルド [®] 粉剤DL
93073 ベルクローブ [®] 水和剤	90028	ミラン [®] 乳剤50	殺虫剤	90893	ラジ [®] カ [®] スプレー	殺虫剤	90016 除虫菊乳剤3
92288 ベニコセ [®] プロアル	90036	ミラン [®] 粉剤3	殺虫剤	92810	ラビデ [®] ス	殺虫剤	94543 石灰塗葉50防散
92290 ベンコゼ [®] 水和剤	91213	ララバ [®] サ乳剤	殺虫剤	92421	リ [®] 一水和剤	殺虫剤	90053 石灰塗葉55
90684 ベント [®] 水和剤20	93663	マルガリーダ	殺虫剤	92422	リ [®] 一乳剤	殺虫剤	90022 石灰塗葉全剤
91001 ベシレート水和剤	98859	ミキワ [®] プロアル	殺虫剤	91203	ランタ [®] イ [®] 乳剤	殺虫剤	93634 草 [®] コラーズ

品名	品番	名稱	用法	名稱	用法	名稱	用法
92301 ベニカラ [®] 水和剤	919001	ベンゾレート水和剤	殺菌剤	90128	ミクロテナ [®] 水和剤85	除草剤	99030 草刈りサクサク原液
92302 ベニカラ [®] 粉剤	93647	ホーメースト乳剤	殺菌剤	98904	ミジットップ	除草剤	99346 草枯らし
92301 ベオフレM [®] 液剤	90902	ホーメイコート	殺虫剤	94307	ミドリヒメ	殺虫剤	98575 草屑液ス
95301 ベガスフローブル	90901	ホーマイ水和剤	殺菌剤	94598	ミニターナVG	殺菌剤	92336 洗浄
94329 ベジキーパー	93979	ホタニガードES	殺虫剤	98180	ミクターノオオ乳剤	殺虫剤	95189 展着ハワダーザ30
98063 ベジセイバー	96568	ホタニガード水和剤	殺菌剤	95435	ミヤコップ	殺虫剤	94724 展着剤ササラ
95644 ベジタードDF	93398	ホタガードDF	殺菌剤	98807	ミオネアプロアル	殺菌剤	91211 塗着剤用一エード
99073 ベジタブルガード	93482	ホト水和剤	殺菌剤	97521	ムジラップ	殺虫剤	91451 塗着用ペアニン
93042 ベジタスマートAL	92944	ホトガード水和剤	殺菌剤	97521	ムジラップ	殺虫剤	93424 葉着くん液剤
98323 ベジード乳剤	93646	ホライドライプロアル	殺菌剤	98199	ペターナ [®] SL	殺虫剤	91956 リモニル殺菌剤2
93008 ベストガード水溶剤	95277	ホタムガムクム原液水和	殺虫剤	90420	メルオイノール	殺虫剤	98421 リナセル原液
93009 ベニア [®] ガード泡剤	94315	ホトキシル水和剤	殺虫剤	93918	メトリップ	殺虫剤	90079 鹿業用生石灰
91314 ベタハV	90371	ホオキシル水和剤	殺虫剤	95643	モストランR [®] ガーバー	殺虫剤	95315 塗着用マーカスミル
94878 ベオフレータ組合水和剤	90610	ホリオキシンAL乳剤	殺菌剤	94188	モズラン [®] プロアルD	殺虫剤	98074 粒状原粉1kg
98818 ベガスアブレー	91672	ホリベキシン水和剤	殺菌剤	93796	モズランSL	殺虫剤	94831 葉着葉用ばんN
98115 ベガスアブレー	91169	ホリドリード	殺虫剤	93127	野菜用ハンドスプレー	殺虫剤	93271 野菜用ハンドスプレー
98816 ベニカラR処剤	90010	ホドード [®] 液用生石灰	殺虫剤	93493	モズラン液剤	殺虫剤	94449 鹿業用原液
97160 ベカS [®] 乳剤	90138	ホドード液用粉用生石灰	その他	93016	モズラン水溶剤	殺虫剤	90072 粒状原粉50
98462 ベニカラフレッシュブレー	93419	ホドフロアプロ	殺菌剤	93017	モズラン粒剤	殺虫剤	90197 粒状粉剤80
98592 ベニカラガード粒剤	95299	ホワイトコート	殺菌剤	94969	モズラン [®] 原液水溶剤	殺虫剤	94019 粒状原粉
98461 ベニカラスクリーニング	94958	ホワイトブロッカ	殺菌剤	97546	モベントフロアプロ	殺虫剤	90240 瓶袋端
94959 ベニカラ [®] スクリーニング	92100	マイキラー	殺菌剤	90182	モズラン水和剤	殺虫剤	90054 施設鏡(粉)
94620 ベニカラ [®] スクリーニング	98445	マイキラー	殺菌剤	92968	モズラン [®] 原液	殺虫剤	90077 施設鏡(粉状)
99016 ベニカラ [®] スクリーニング	91786	マイコシールド	殺菌剤	93040	モンガル [®] プロアルD	殺虫剤	91982 粒状石灰茎葉40
97850 ベニカラ [®] スクリーニング	93336	マイコタール	殺菌剤	91695	モンガル [®] 水和剤	殺虫剤	90143 粒状石灰茎葉40
97119 ベニカラ [®] スクリーニング	90304	マイシング20水和剤	殺菌剤	92047	モカット [®] 水和剤50	殺虫剤	90725 粒状石灰茎葉55
98325 ベニカベジラル剪剝	91988	マイセイゼット	殺菌剤	92050	モカット [®] 粒剤	殺虫剤	90393 ロックス
94728 ベニカマルスドブレー	94249	マイターナ [®] 粒剤	殺菌剤	93891	モカット [®] 粒剤	殺虫剤	95177 ワイドコード
94848 ベニカマルスド液剤	92860	マイトクリーン	殺菌剤	91374	モ [®] エサイドID	殺虫剤	94589 ワイドシッター [®] 原液水和
98324 ベニカラ [®] ダグア [®] スプレー	93929	マイコアプロ	殺菌剤	92884	モニオーム [®] 粒剤	殺虫剤	93505 ワブラン [®] 原液
94974 ベニカラ [®] スクリーナー	93268	マイネックス	殺菌剤	98778	モニオーム [®] アプロアル	殺虫剤	92981 ワンナードP [®] 乳剤
94259 ベニカラ [®] スクリーニング	90645	マイマイベレット	殺菌剤	90735	日ネズミ	殺虫剤	95759 家庭園芸用スミミオ [®] 乳剤
94296 ベニカラ [®] 水溶剤	96552	マキシム40	殺菌剤	91824	ヨーナホ [®] 水和剤	殺虫剤	93215 家庭園芸用オルトラン [®] 水和
93397 ベニ [®] ダグア [®] K	98863	マグア [®] K	殺虫剤	94723	ヨーナイフ [®] アプロアル	殺虫剤	94308 食材衛生オルトラン [®] 原液
92556 ベニ [®] 水和剤	94124	まくひか	殺菌剤	91113	ラウンダーパウ	除草剤	97500 家庭園芸用ガーデン [®] ガーベ
91544 ベニ [®] スクリーナー	93798	マスター [®] スチース水和剤	殺菌剤	94462	ラウンダーラコス [®]	除草剤	93226 家庭園芸用スミミオ [®] 乳剤
98036 ベニア [®] 乳剤	93448	マツホ乳剤	殺虫剤	94798	ラクサ [®] 一乳剤	除草剤	93206 家庭園芸用スミミオ [®] 乳剤
91776 ベフロ [®] 水和剤	94197	マツホ [®] ガム [®] 一乳剤	殺虫剤	94549	ラクサ [®] 一乳剤	除草剤	95719 家庭園芸用スミミオ [®] 乳剤
96228 ベフラン [®] 液剤12.5	93612	マトリック [®] アプロアル	殺菌剤	98073	ラクト [®] ガード水和剤	殺虫剤	93327 家庭園芸用シジンソル
91571 ベフラン [®] 液剤25	93186	マネージDF	殺菌剤	93738	ラクビ [®] -MC粒剤	殺虫剤	95758 家庭園芸用ラクビ [®] 粒剤
98127 ベニ [®] ダツチ	92322	マネージ [®] スチース水和剤	殺菌剤	90472	ラク [®] ノ [®] 一乳剤	除草剤	94317 家庭園芸用ラクビ [®] 乳剤
94603 ベミハーバー	92024	マトリック [®] ジエット	殺虫剤	98851	ラディアントSC	殺虫剤	93177 家庭園芸用レジン [®] 液剤
98004 ベリマー [®] SC	92022	マトリック [®] 水和剤	殺虫剤	93251	ラノ [®] 乳剤	殺虫剤	93178 家庭園芸用